

平成29年度古賀市学校教育グランドデザイン報告会

プレゼンテーション配付資料

(1) 古賀市教育委員会	1
(2) 古賀東中学校	5
(3) 青柳小学校	10
(4) 小野小学校	15
(5) 舞の里小学校	21
(6) 花見小学校	26
(7) 古賀北中学校	31
(8) 千鳥小学校	36
(9) 古賀西小学校	43
(10) 古賀東小学校	48
(11) 花鶴小学校	53
(12) 古賀中学校	58



平成30年2月15日(木)
リーパスプラザこが 多目的ホール

平成29年度

グランドデザイン 報告会



古賀市教育委員会

古賀プラン2017

日本一通いたい、通わせたい学校をめざして
～確かな学力と豊かな人間性を育む学校教育の充実～

教育立市こが

豊かな心の育成

- ☆豊かな心を育てる教育の充実
 - 人権尊重の観点に立った学校づくりの充実
 - 体験学習を取り入れた道徳教育の充実
 - 教員の人権教育講座「いのちのノート」の改題とその活用推進
 - 小・中の接遇マナー研修等、小・中連携した計画的・組織的・継続的なキャリア教育の充実
 - 中学生5日間職業体験学習の充実
 - 学校全体での読書活動の推進と読書指導

- ☆いじめ・不登校のない学校づくり
 - 適応指導教室「あすなろ教室」の充実
 - 心の教室相談員の全校配置とその活用強化
 - 要保護児童ネットワーク会議の活性化と連携強化
 - OSSW、SC等との連携推進と教育相談の充実

確かな学力の育成

- ☆確かな学力を培い、個性や能力を伸ばす教育の充実
 - 原則、全小中学校35人以下学級編制のための少人数学級対応講師の配置
 - 多様な人材配置による教員と子どもとが向き合う環境づくりの充実
 - 学力調査等の分析及び改善策に係る学力向上推進会議の充実と各学校における学力カルテの活用
 - 家庭での学習習慣づくりの推進
 - 特別支援教育の観点に立った教育活動の推進

- ☆時代の変化に対応する教育の推進
 - ALTを活用した外国語教育の推進
 - インターネット(SNS等)についての情報モラル・情報リテラシー教育の推進と規範意識の育成

- ☆特別支援教育の推進
 - 特別支援教育支援員研修会の改善充実
 - 特別支援教育相談室「ひまわり教室」支援の拡充

健やかな体の育成

- ☆健やかな体を育て、体力の向上を図る教育の充実
 - あいさつの推進とこしほれタイム(立席)の充実
 - 食育推進会議の充実と古賀市版「フレット」を活用した食育アレルキョー対応の充実
 - 生涯学習推進課「元気アップチャレンジ」と連携した体力向上推進会議の充実とその効果的な取組及び地域との連携推進
 - 「歩いて登校」の奨励
 - 学校の実態に応じた防災訓練の実施

- ☆安全で快適な学校環境の整備
 - 学校安全対策の充実
 - メール一斉送信システム(無料)の活用推進
 - 学校施設の計画的整備
 - ホームページによる発信力の向上支援

信頼される学校づくり

- ☆地域や子どもに信頼される教職員の育成と研修の充実
 - 市教育委員会主催研修会の精選と改善
 - ライフステージに応じた研修の充実
 - 特別支援教育研修の充実
 - 教育費保護者負担軽減の推進

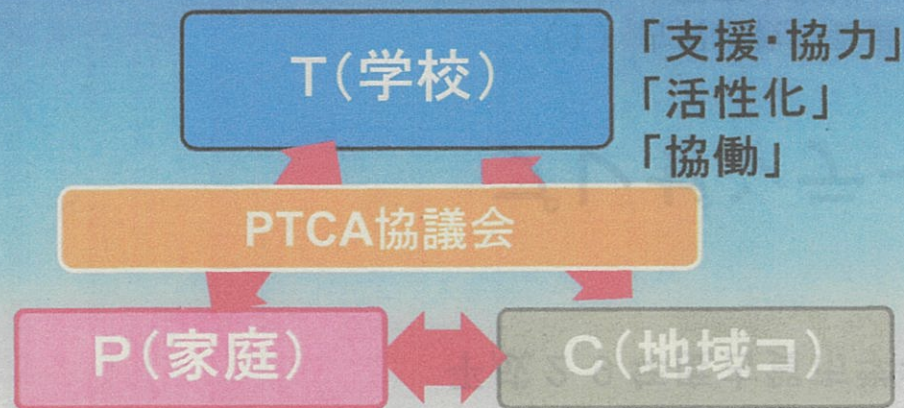
- ☆地域に開かれた学校づくりの推進
 - 学校グランドデザイン発表会・報告会の充実
 - 古賀市民小・中学校視察生制度の改善充実
 - フェスタ・オープンスクールなど土曜日を活用した授業の推進
 - 古賀モデルのPTCAを活用した学校運営の推進
 - 古賀市教育委員会 facebook による情報発信

- ☆学校・校区の特徴を生かした研究の充実
 - 古賀モデルの進め方や中連携を意識した中学校区連絡協議会の活性化
 - 市研究指定・委嘱校を活用した特色のある校内研究の支援

教育委員会の積極的支援

信頼される学校 ▶ 確かな学力 ▶ 豊かな心 ▶ 健やかな体

従来のPTAから古賀モデルのPTCAへ



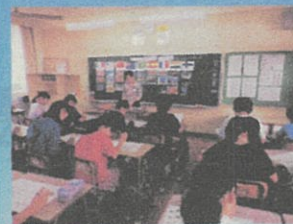
それぞれ役割を担いシェアしていく考え方

信頼される学校 ▶ 確かな学力 ▶ 豊かな心 ▶ 健やかな体

古賀モデルの強い小中連携



【古賀中校区】
小中双方向の交流



【古賀北中学校区】
小学生の
一日まるごと体験



【古賀東中学校区】
小中連携
授業改善研修会

Facebookによる情報発信



古賀市教育委員会
Facebookページのユーザー
ゲームを体験

- ホーム
- 投稿
- 動画
- 写真
- ページ情報
- コミュニティ
- 広告を出す
- 広告を管理

1. 福岡県公立学校教職員表彰 受賞

1月5日に福岡県庁において「平成29年度福岡県とひうめ教育表彰式」が開催され、古賀市小学校の吉村武雄 主幹教諭が「福岡県公立学校優秀教職員表彰」を受賞しました。

この賞は、日々の授業や学級経営、生徒指導などに優れた能力を発揮し、学校運営などに大きな成果を上げている教職員を表彰するものです。このような優秀な教職員が古賀市に在籍していることは大変喜ばしいことです。また、吉村主幹教諭が力を発揮できるのも、日々の子どもの関わりや、保護者・地域の方々のご協力があるからこそだと思います。教育委員会としても、古賀市内の教職員がこれからもますます充実した教育活動を展開できるように変わってまいります。

学校教育課 TEL 942-1130



平成29年度グランドデザイン報告会



市費による多様な人的配置

原則、全小中学校「35人以下学級」

- 少人数学級対応講師(16)
- SSW(1) SC(1)
- 小1プロブレム対策学級補助員(8)
- 適応指導教室(3+6)
- 心の教室相談員(11)
- 学校図書館司書(11)
- 特別支援教育主任相談員(2)
- ALT(3名配置)
- スクールカウンセラー小学校派遣
- 部活動講師(12)
- 特別支援教育支援員(時間数増)(16)

90名の人的配置

学習支援アシスタントのべ1154名

教員が子どもと向き合う環境づくり

平成29年度グランドデザイン報告会



新学習指導要領移行期間に向けた小学校外国語活動研修

10月から
全5回シリーズ
のべ67名の参加

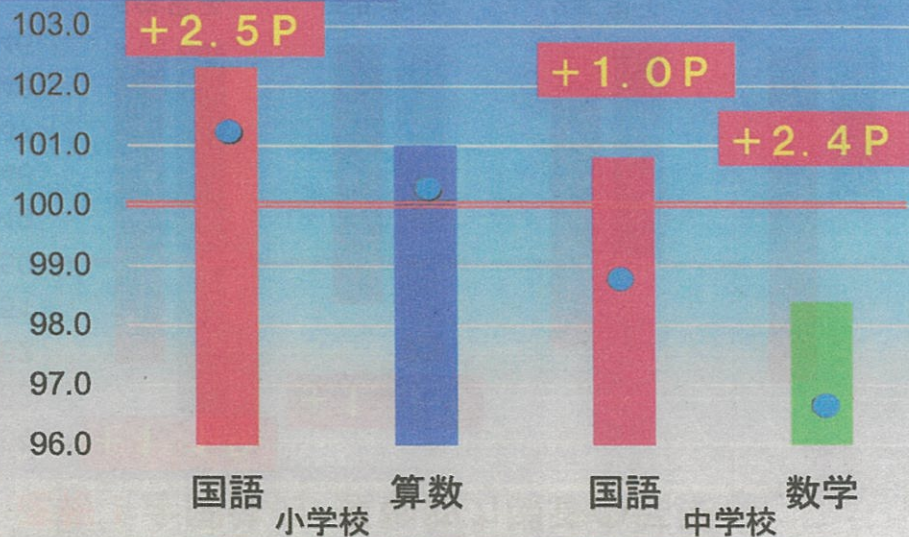


古賀中学校
井上久子主幹教諭による
「HISAKO塾」

平成29年度グランドデザイン報告会



平成29年度全国学力・学習状況調査結果



平成29年度グランドデザイン報告会



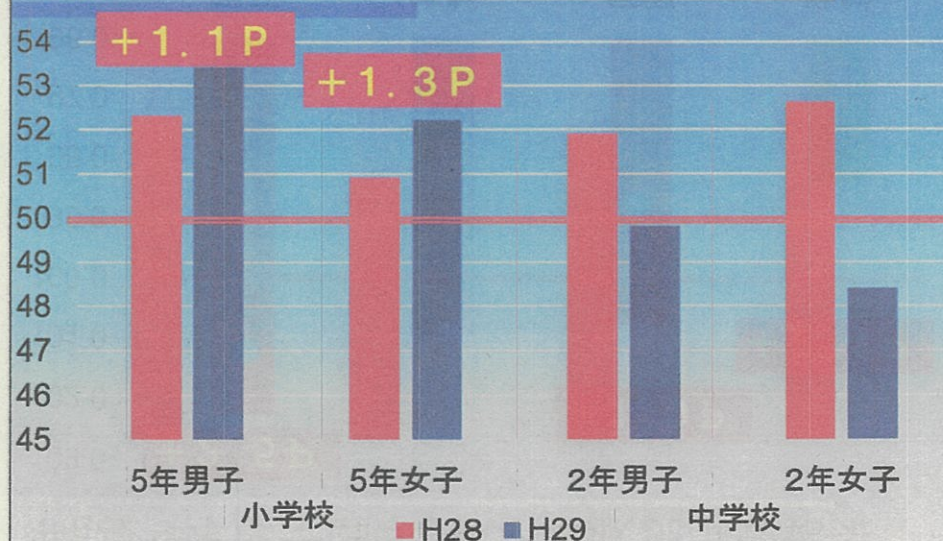
人権教育副読本活用授業研修会



平成29年度グランドデザイン報告会



速報！全国体力・運動能力調査の結果



平成29年度グランドデザイン報告会



生涯学習推進課と連携「元気アップチャレンジ」



スポーツ推進委員の派遣

平成29年度グランドデザイン報告会



体力向上推進会議

小中学校共通取組項目

- ①立腰の徹底・継続
- ②(小)年2回の〇〇大会の実施
(中)年1回のクラスマッチの実施
- ③体育の授業における、課題に応じたウォーミングアップの工夫
- ④体力テストの2回目を設定し、課題解決に向けた手だての工夫と意欲づけ。

平成29年度グランドデザイン報告会



各校「1校1取組」の推進

学校名	「1校1取組」運動名と設定内容
青柳小学校	「青柳小 元気っ子プラン」
小野小学校	「小野っ子 体カアップ計画」
古賀東小学校	「挑戦！ 東っ子 体カアップチャレンジ」
古賀西小学校	「短縄とび」
花鶴小学校	「みんなで ホップ ステップ ジャンプ」
千鳥小学校	「千鳥っ子 体カアップタイム」
花見小学校	「ターゲットアタック」「シャトル投げ」「的当て」等
舞の里小学校	「舞っ子体カアップチャレンジ2017把握・継続・実感」
古賀中学校	「アジリティトレーニングで敏捷性アップ」
古賀北中学校	「パワーアップ古賀北」
古賀東中学校	「ホップ・ステップ・持久力」

平成29年度グランドデザイン報告会



平成29年度

グランドデザイン 報告会



古賀市教育委員会
ご清聴ありがとうございました

平成29年度 古賀市学校教育 グランドデザイン 報告会



東風魂コンセプト



～心が動く～

平成30年 2月15日
古賀市立 古賀東中学校
校長 松本 修

古賀東中
ライジングプラン2017

本年度の重点目標
自信を持って生活できる生徒の育成

確かな学力づくりに努めます

- ★基礎・基本が確実に定着する指導をします
 - 基礎・基本定着プロジェクト委員会、全教科部会の充実
 - 少人数授業、TT授業の工夫と充実
 - 余裕教室の整備と活用を充実
- ★総合的な学習の時間の充実を図ります
 - 総合的な学習の時間の担当者会、学年会の充実
 - キャリア教育を中核とする「生きる力」の充実
 - 地域の学校、施設、人の活用と連携

人間関係づくりに努めます

- ★全ての生徒が安全・安心して通える学校にします
 - 人権・同和教育推進委員会、学年会の充実
 - 道徳の授業、日常的な人権・同和教育の充実
 - 保護者、地域との連携と校内環境整備
- ★感動があり、元気が出る学校にします
 - 各行事実行委員会の充実
 - 体育会、合唱コンクール、東風フェスタ、総合的な学習の時間での感動体験の充実
 - 生徒会や保護者との連携
 - 各通信等による生徒の成長の発信

健やかで体力づくり(不登校減少)に努めます

- ★学力を下げないで体力の向上を図ります
 - 体育科部会、部活動顧問会、学年会の充実
 - 体育の授業、特別活動、部活動での体力づくりの充実
 - PTCA、外部指導者との連携と施設・設備の充実
- ★生活習慣の改善に努めます
 - 保健の授業、学級活動での健康教育の充実
 - 校医、保護者との連携
 - S・C、S・S・Wとの連携
 - PTCAによる「朝勉」と「朝弁」の運営

信頼される学校づくりに努めます

- ★学校外組織との連携を図ります
 - ・青柳小学校、小野小学校、古賀東小学校、古賀特別支援学校、古賀成成高等学校、玄界高等学校との連携
 - ・専門機関（古賀市青少年総合センター、ひだまり館、福岡教育大学、九州産業大学、福岡教育センター）との連携
 - ・古賀市学校人権教育研究協議会との連携
- ★開かれた学校にします
 - ・オープンスクールの実施（毎月1回）
 - ・学校評議員制度の充実
 - ・学校評価の実施と結果の説明及び改善策の提示
- ★教職員の協働づくりに努めます(組織性の向上 専門性の向上 人材育成力の向上)
 - ・学人研究部会への全員参加
 - ・校内研究授業の実施
 - ・先進地への視察、調査
 - ・長期派遣研修への応募
 - ・教科等研究会への全員参加
 - ・外部講師を招聘しての研修会の実施
 - ・各種教育論文への積極的応募
 - ・校内研修の充実
 - ・県教育センター、糟屋地区教育研究所講座の受講
 - ・各種教育研究サークルへの参加

東風魂四訓(あいさつ 感謝の心 時間厳守 環境美化)

県教育委員会からの人的加配措置・古賀市教育委員会からの成果を期待される人的・財政的措置

平成29年度全国学力・学習状況調査結果

県平均を超えた区分から見た
H28年度からの伸び

国語A 3項目減

国語B 2項目増

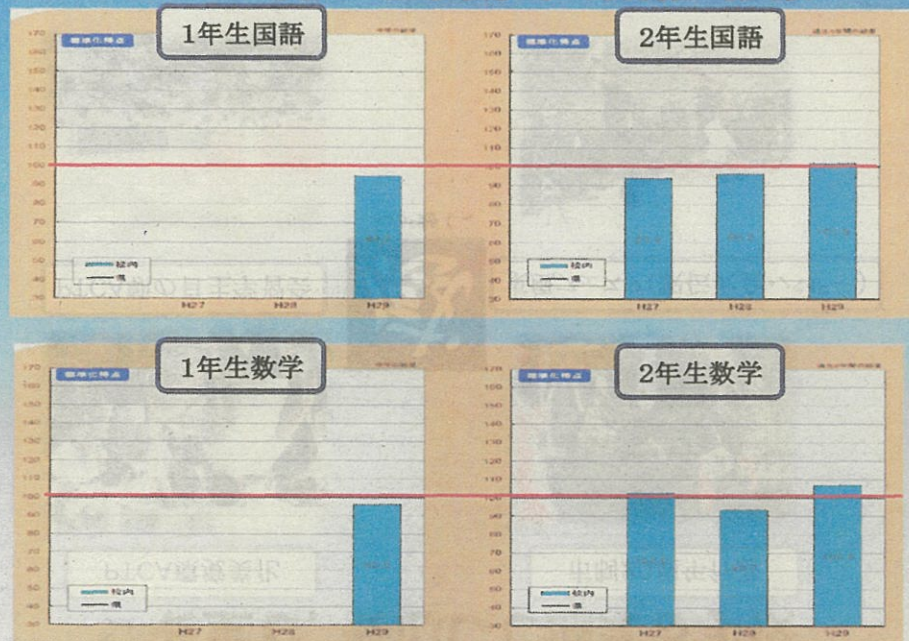
数学A 1項目減

数学B 3項目増

平成29年度全国学力・学習状況調査結果

質問	平成29年度 本校	平成29年度 県	平成29年度 全国
1 朝食を食べていますか。	83.5	78.7	82.7
2 自分には、よいところがあると思いますか。	32.3	35.1	28.2
3 学習塾(家庭教師含む)で勉強していますか。	39.4	34.0	38.5
4 新聞を読んでいますか。	7.9	3.2	5.3
5 国語の勉強は大切だと思いますか。	64.6	62.8	56.1
6 数学の勉強は大切だと思いますか。	45.7	55.3	47.7
7 数学ができるようになりたいと思いますか。	70.9	77.7	73.7
8 「総合的な学習」の時間の授業で学習したことは、 普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか。	25.2	25.5	21.3
9 学校授業などで、自分の考えを他人の人に説明したり、 文章に書いたりすることは難しいと思いますか。	25.2	28.7	35.6
1 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。	86.6	91.5	73.3
2 将来の夢や目標を持っていますか。	50.4	50.0	45.3
3 家で、学校の宿題をしていますか。	75.6	78.7	67.7
4 学校に行くのは楽しいと思いますか。	59.8	58.5	47.3

1・2年生 福岡県学力調査結果



平成29年度 新体カテスト結果 (本校と全国の比較)

学年	性別	1	2	3	4	5	6	7	8	本校>全国 (4/8項目以上)
		握力	上体 起こし	長座体 前屈	反復 横跳び	20m シャトル	50m走	立ち 横跳び	ボール 投げ	
1年生	男子	22.9	25.0	36.1	48.5	70.2	9.2	188.8	17.8	3項目
	女子	23.0	19.3	45.2	46.0	55.8	9.2	175.7	13.2	0項目
2年生	男子	28.6	26.1	41.6	53.8	90.3	8.2	208.5	22.6	0項目
	女子	25.7	22.7	48.0	46.9	54.5	9.0	185.2	14.1	0項目
3年生	男子	36.2	27.6	47.1	56.4	98.7	7.6	220.1	27.2	0項目
	女子	25.3	20.0	46.9	46.2	57.5	9.1	176.4	14.5	2項目

変化に対応した 東風トーク

1. 課題との出会い
セルフトーク①
【自己との対話】
2. 考えを深める
(協働解決)
ペアトーク
グルーptーク
【他者との対話】
3. 考えを広げる
オールトーク
4. ふりかえり活動
セルフトーク②
【自己との対話】

主体的に学ぶ生徒像

自己成長
の実感
↓
自己効力感
自己有用感

普遍的理念として 東風スタイル 〈学びの構え〉

- “Being”
1. 先見の構え
(学習準備)
見通す力&自治活動
【自己決定】
 2. 協働の構え
(正対する)
承認の意思表示と
参画の意思
【自他の尊重】
 3. 心身の構え
(立腰・黙想)
心と体を整える
【自律】

人権教育の視点からの共感的人間関係づくり (リレーション)

35人以下学級による授業改善

数学科
(単純分割の少人数授業)



両輪の「東風スタイル」と
「東風トーク」の徹底

☆安全で、安心して通える学校

生活の基盤

- 一、環境美化
 - 一、時間厳守
 - 一、感謝の心
 - 一、あいさつ
- 東風魂四訓

東風魂四訓唱和及び校歌斉唱



☆安全で、安心して通える学校

生徒会の学校像

生徒会ブロック(合唱コン)



生徒会ブロック(体育会)

外遊び(昼休み)



感

~心が動く~

☆安全で、安心して通える学校

PTCA環境美化

市制20周年行進



PTCA朝の自主学習会

東風フェスタ(駅伝大会・バザー)



感

~心が動く~

☆感動(成功・失敗)があり、元気ができる学校

1年生

ふれあい体験学習



感

~心が動く~

職業人に聞く会



☆感動(成功・失敗)があり、元気がでる学校

2年生

感

～心が動く～



職業体験



感民泊修学旅行(感動 in鹿児島)

☆感動(成功・失敗)があり、元気がでる学校

3年生

感

～心が動く～

高校授業体験



地域貢献活動(地域の伝統祭支援)



自信を下支えする授業改善への努力

29年度 授業満足度調査(後期)

	臨	檢	験	期	類	語	彙	類	類	類	類	類	類	平均
1年生	89%	86%	85%	86%	69%	89%	91%	87%	86%	97%	90%	92%	94%	88%
2年生	93%	88%	85%	90%	85%	95%	99%	91%	93%	91%	86%	97%	95%	91%
3年生	97%	76%	86%	88%	94%	99%	95%	93%	98%	99%	99%	99%	99%	94%
平均	93%	83%	86%	88%	82%	94%	95%	90%	92%	96%	92%	96%	96%	91%

自信を下支えする
人間関係づくりへの努力

学校は楽しいですか。

85%以上	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(2月末)
1年生						79%
2年生						97%
3年生						97%
いじめ 解消/人数	10	25	6	8	7/15	8/14
不登校 解消/人数	0/6	3/24	0/22	4/24	15/23	1/14

自信を下支えする
欠席・遅刻・保健室来室者数の減少への努力

	平成28年度	目標	平成29年度(12月)
総欠席者数	延べ3,243人	20%減	延べ1,986人
総遅刻者数	延べ2,072人	20%減	延べ 608人

	平成28年度	目標	平成29年度(12月)
総来室者数	延べ1,900人	20%減	延べ 998人

次年度に向けて

子どもの「なぜ? どうして?」
について正しく伝え、

子どもの「夢や目標」
について語れる教職員集団

古賀市学校教育 グランドデザイン報告会



平成30年2月15日
古賀市立青柳小学校
校長 井浦 政義

本年度の重点

「自分で気づき、考え、行動する子ども」【自主・自律】

- 学習の楽しさに気づき、進んで考え、発信する子ども
- 友達の大切さに気づき、進んで支え合い、励まし合える子ども
- 運動の楽しさに気づき、進んで身体を鍛え、健康づくりができる子ども

教える

任せる

鍛える

ほめる

伸ばす



学び合う子ども

- ・立腰教育を推進し、学習規律を徹底
- ・基礎的基本的学力の定着
- ・全校チャレンジタイム、放課後学習支援教室の徹底



豊かな心をもつ子ども

- ・心の教育、道徳の時間の充実
- ・基本的生活習慣の定着(挨拶、黙動掃除)
- ・友達の良さを見つける「いいね活動」



夢や目標に向かって挑戦する子ども

- ・青小体操、ロコモ体操、元気タイム、元気ウォーク
- ・歌声集会、なわとびオリンピック
- ・岳越山・立花山・若杉山登山、100キロキャラバン

【学び合う子ども】



立腰姿勢



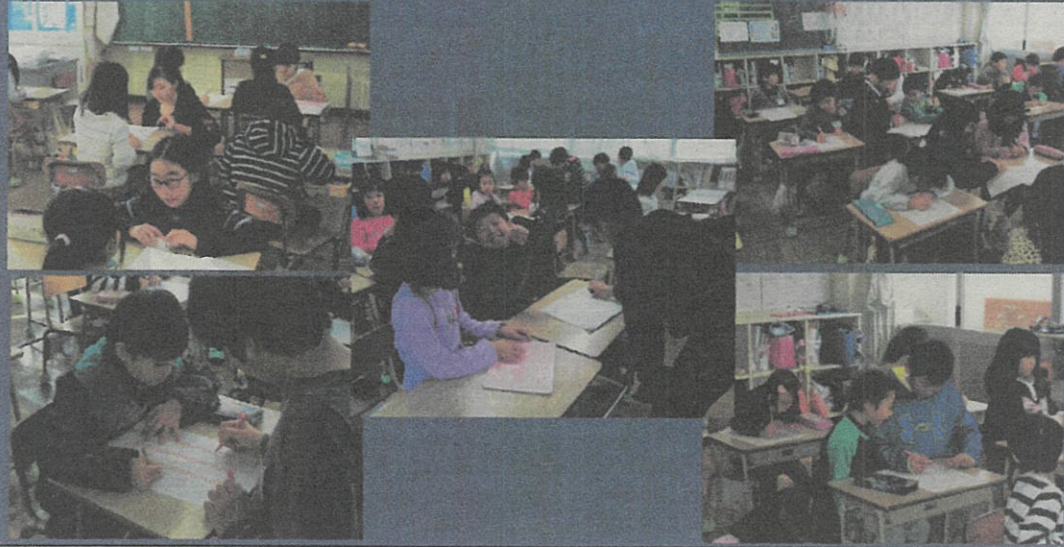
異学年授業参観



学び合う職員



チャレンジタイム(上学年による学習支援)



学校を支えてくださるゲストティーチャー・ボランティア



花・芋植、
どんぐり拾い

読み聞かせ

ダンス

着衣水泳

護身術

野菜作り

丸付け



ふるさとデー



すいよう広場



あおやじの会

【豊かな心をもつ子ども】



いいね活動



縦割り清掃
多読書表彰



上級生の読み聞かせ

どんぐりの会(通学合宿)



見守り



各区消防団



【夢や希望に向かって挑戦する子ども】



運動会



登山
岳越山、立花山、若杉山



キャラバン



3泊4日宿泊学習



歌声集会



東峰学園交流会(11.27)

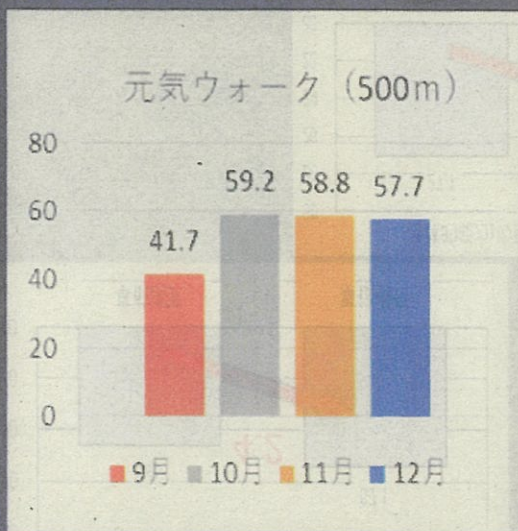


体力テスト(シャトルラン)

		6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生
青柳小	男子	76.8	70.4	62.0	46.4	33.2	24.1
福岡県	男子	61.7	53.7	45.8	37.2	28.1	18.5
差		+15.1	+16.7	+16.2	+9.2	+5.1	+5.6
青柳小	女子	58.3	65.6	36.5	30.7	28.0	17.9
福岡県	女子	47.0	41.3	34.6	28.1	22.3	16.0
差		+11.3	+24.3	+1.9	+2.6	+5.7	+1.9

※青柳小はH29データ、福岡県はH28データ。単位は回。

元気ウォーク(歩いて登校)



【80%達成】

9月 118人
10月 168人
11月 167人
12月 164人

42%
↓
59%

【100%達成】

各月約65人

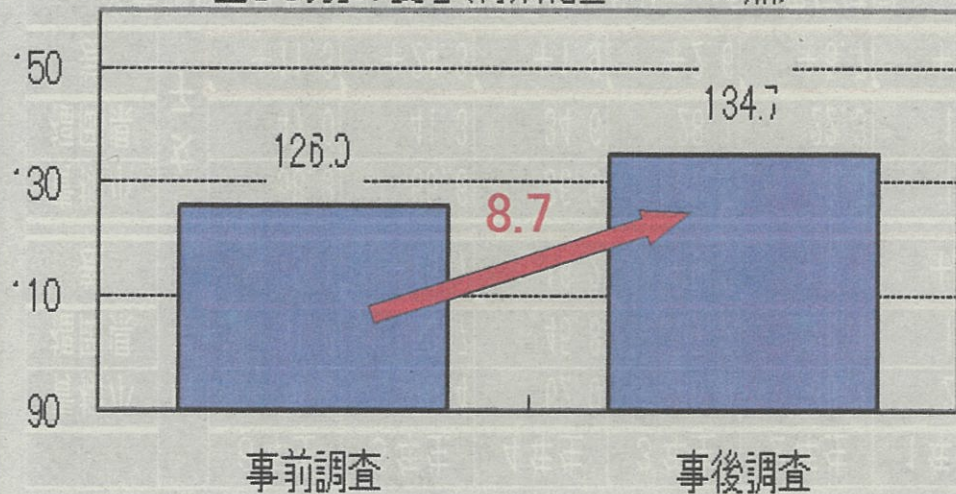
23%

【0~5日】

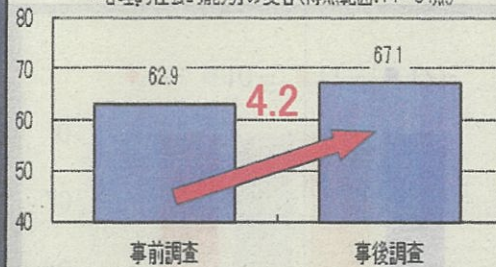
各月約40人

14%

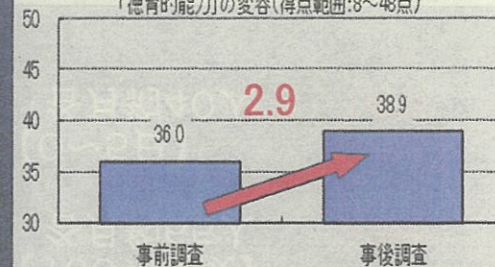
「生きる力」の変容(得点範囲:28~163点)



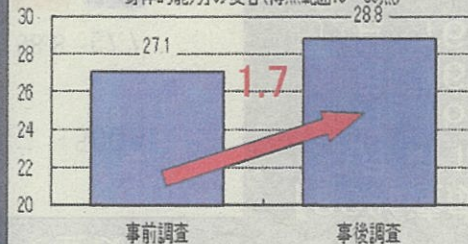
「心理社会的能力」の変容(得点範囲:14~84点)



「徳育的能力」の変容(得点範囲:8~48点)

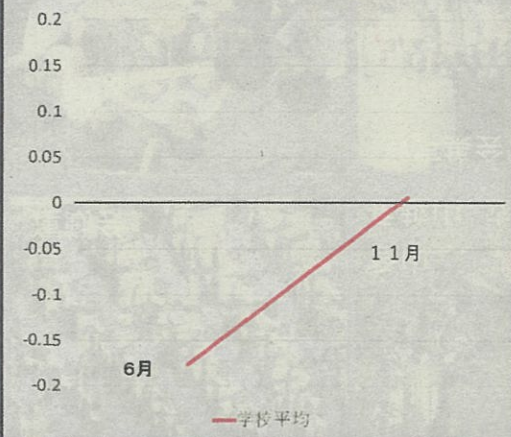


「身体的能力」の変容(得点範囲:6~36点)

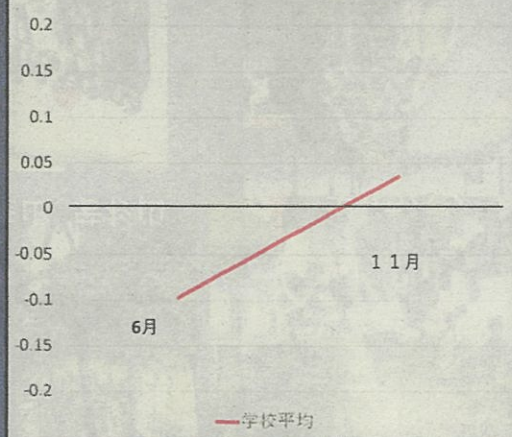


活用力診断テスト

国語 県平均との得点率差

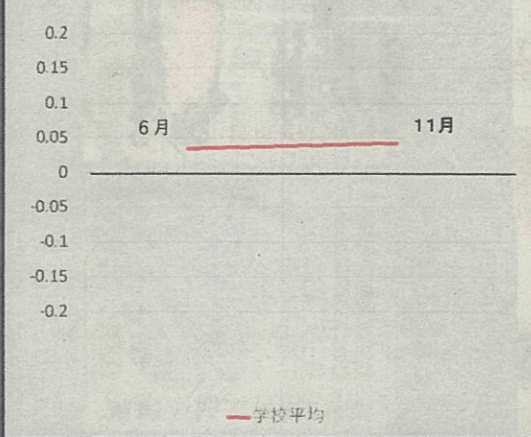


算数 県平均との得点率差

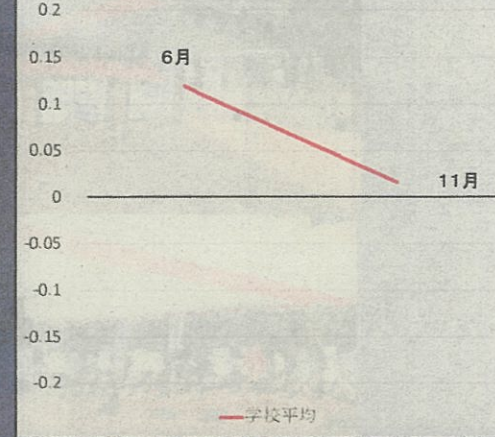


活用力診断テスト

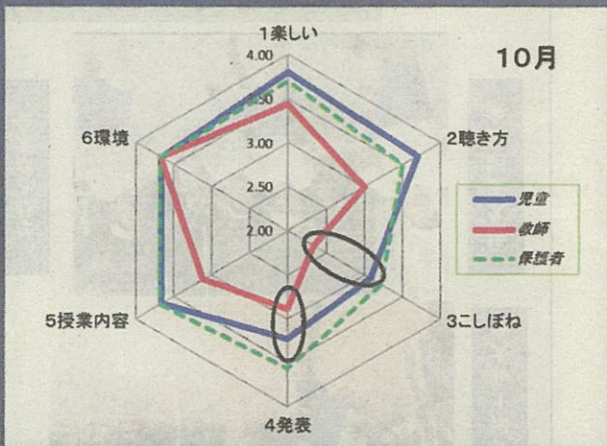
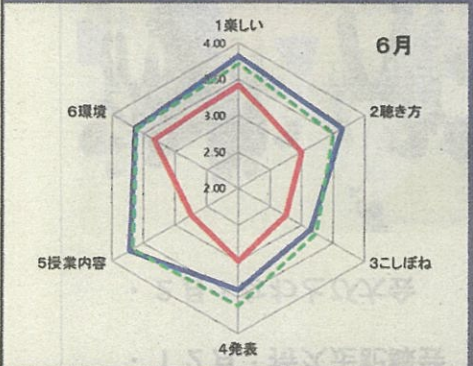
国語 県平均との得点率差



算数 県平均との得点率差



授業アンケート



児童・職員とも、こしぼねを立てた学習とよく発表しているの評価が下がっている。



ご清聴ありがとうございました

平成29年度 古賀市グランドデザイン報告会



古賀市立小野小学校

1 本年度の重点目標

基本的学習習慣・生活習慣を身につけ、
意欲的に学ぶ児童の育成

(1) 向上部会の充実

- ◇ 体力向上（授業、スポーツ大会等）
- ◇ 学力向上（学習規律、基礎学力向上等）
- ◇ 心力向上（道徳、人権同和教育等）

(2) 研修部・専門部の推進

- ◇ 校内研修、自主的・実践的態度育成

(3) 保護者・地域との連携

- ◇ PTCA、校区運営協議会、健康づくり等

2 本年度の実践

向上部会

(1) 体力向上：スポーツ大会

- ・ 9月：ドッジボール大会
- ・ 12月：持久走記録会
- ・ 2月：なわとび大会



ドッジボール大会



持久走記録会



なわとび大会

学級や学年の子どもたち同士の「つながり」

2 本年度の実践

向上部会

(2) 学力向上：基礎学力の向上

- ・ チャレンジ学習（習熟度別少人数学習）
- ・ たけのこ教室（放課後補充学習：希望者参加）
- ・ 宿題教室、小野っ子検定（長期休業後の検定テスト）



夏休み宿題教室



たけのこ教室

学級担任、担任外教師、地域のボランティアとの「つながり」

2 本年度の実践

向上部会

(3) 心力向上：総合的な学習の時間、生活科

- どの学年も複数回の交流を行う
- 一度目の交流の反省を、二度目以降に生かす
- 学級や学年の子ども達同士の関係を強める
- 交流先の方々についての理解を深め、関係を強める

人との「つながり」を広げる



2 本年度の実践

保護者・地域との連携

(1) 小野校区運営協議会



野幸山幸大運動会



野幸山幸おのまつり

(2) 健康づくりプロジェクト (看護大学、予防検診課)



骨密度測定

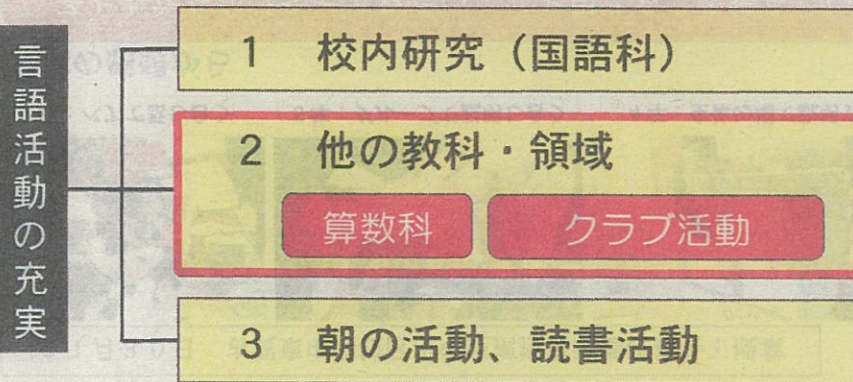


健康づくり(授業)

2 本年度の実践

子どもの課題

子どもの表現に消極的であるという課題改善のため、積極的に自己を表現し、コミュニケーションを意欲的に行う子どもの姿を目指し言語活動の充実を図った。



2 本年度の実践

言語活動の充実

他教科における言語活動の充実：算数科

算数科において、言語活動の充実を図り主体的な学びをつくる

(1) 学びのスタイル

発達段階に応じた3つの対話

- ① 自己との対話
- ② 他者との対話
- ③ 課題との対話

- 課題と向き合う
- ペアやグループで説明
- 全体の場で説明・発表

(2) 魅力ある課題のデザイン

追究意欲をかき立てる課題づくり

→主体的に学ぶ原動力→対話が活性化

2 本年度の実践

言語活動の充実

11月30日 古賀東中学校区小中連携授業改善研修会：授業



2年：ペアで話し合う



5年：グループで説明し合う



4年：全体の場で説明する

◇授業の感想から

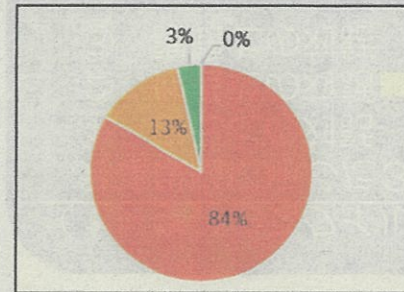
- 子どもたちが「やってみたい!」と思える、素晴らしい課題のデザインがなされていた。
- 授業では発表を中心とし、しかしそれだけに留まらない「対話」の深まりが顕著に見られました。
- 自分でまず課題と向き合い、考え、表現して友だちと対話する様子が見られ、とても主体的な学びでした。

2 本年度の実践

言語活動の充実

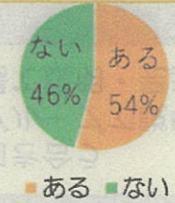
特別活動：クラブ活動

クラブ活動は好きですか？

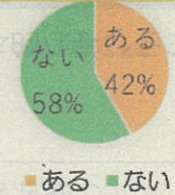


- 好き
- まあまあ好き
- あまり好きではない
- 好きでない

自分たちで計画を立てたことがありますか？



話し合っって次の活動を決めたことがありますか？



2 本年度の実践

言語活動の充実

特別活動：クラブ活動

書道クラブ

成果を発表する場：小野っ子パフォーマンス



昼休み：小野小のみんなへ発表



おのまつり：地域へ発表

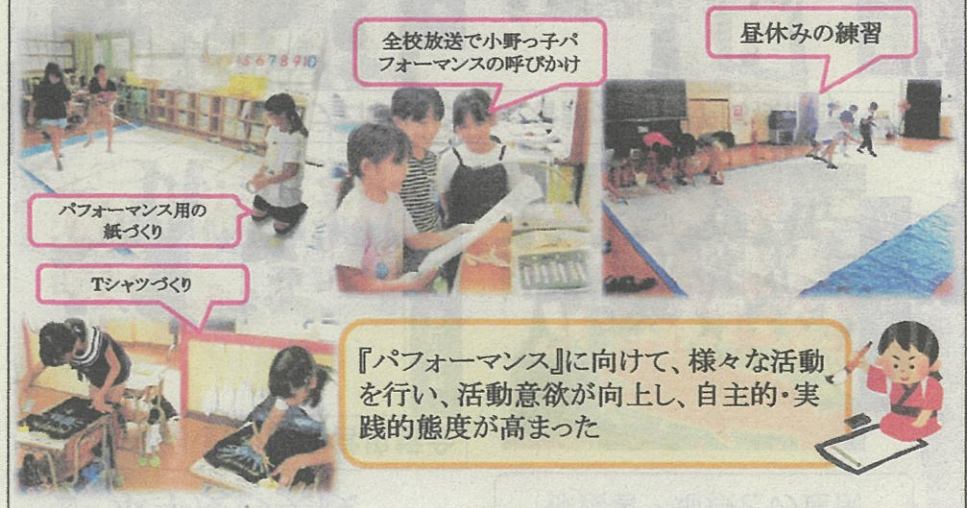
2 本年度の実践

言語活動の充実

特別活動：クラブ活動

書道クラブ

小野っ子パフォーマンスへ向けて



2 本年度の実践

言語活動の充実

特別活動：クラブ活動 次への意欲が高まる「ふり回り活動」

実践1 共同制作「七夕」活動後

練習に遅れずに集まって、どんな作品にしたいのか、字の大きさ、書くスピード、書くときの姿勢をどうするか、などを話し合いたいなど思いました。

6年生として4年生や5年生に積極的に声をかけたり気軽に話したり、何でも言い合えたりできるように努力したいです。

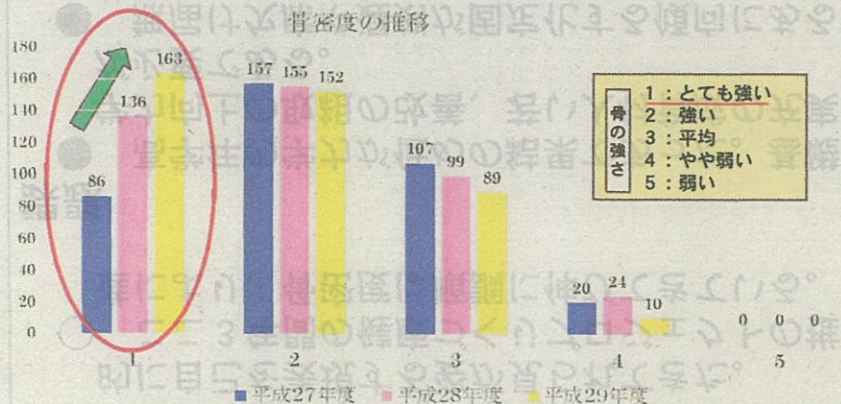
実践2 小野っ子パフォーマンス後



おのまつりでもたくさん練習してみんなで協力し、作品をつくりたいです。そして思い出になる作品をみんなで作りたいです。

3 本年度の教育活動の結果 「体力」関係

グラフ 骨密度測定結果の推移



骨密度は、1「とても強い」の児童が増えた

3 本年度の教育活動の結果 「体力」関係

表 平成29年度 新体力テスト結果

学年	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
1年生	△	△	○	△	△	-	△	○
2年生	○	○	○	△	○	△	△	○
3年生	○	△	○	○	○	△	△	△
4年生	○	△	○	-	△	△	△	△
5年生	○	○	○	-	△	△	△	○
6年生	○	○	-	△	△	○	△	○

○ 立ち幅跳び、50m走、シャトルランなど走力や跳躍力に課題がある。

3 本年度の教育活動の結果 「学力」

表 標準学力テストの結果の推移

学年	教科	H27年度			H28年度			H29年度		
		偏差スコア	市	全国	偏差スコア	市	全国	偏差スコア	市	全国
1年	国語	49.3	○	△	52.6	○	○	48.7	△	△
	算数	49.1	△	△	53.2	○	○	53.6	○	○
2年	国語	49.3	△	△	55.4	○	○	51.7	○	○
	算数	52.0	○	○	54.2	○	○	53.6	○	○
3年	国語	48.7	△	△	51.4	○	○	54.1	○	○
	算数	47.3	△	△	51.5	○	○	50.9	○	○
4年	国語	47.3	△	△	53.8	○	○	53.4	○	○
	算数	46.1	△	△	51.5	○	○	53.5	○	○
5年	国語	47.6	△	△	49.7	△	△	48.2	△	△
	算数	46.5	△	△	50.9	△	△	49.1	△	△
6年	国語	50.5	○	○	52.2	○	○	47.1	△	△
	算数	50.7	○	○	49.0	△	△	47.6	△	△

○ 低・中学年は国語・算数共に高めである、高学年は低めである。 ● 高い △ 低い

4 成果と課題

成果

- 学習場面や行事・生活場面において、意欲的に自己を表現する姿が見られてきた。
- ここ3年間の健康づくりプロジェクトの推進により、骨密度は順調に伸びてきている。

課題

- 高学年の学力が低めの結果であった。基礎学力向上の取組の改善、若い人材育成の充実が必要である。
- 無届け欠席や遅刻が固定化する傾向にある保護者へ、啓発を行う必要がある。

本年度の「響育」の目標

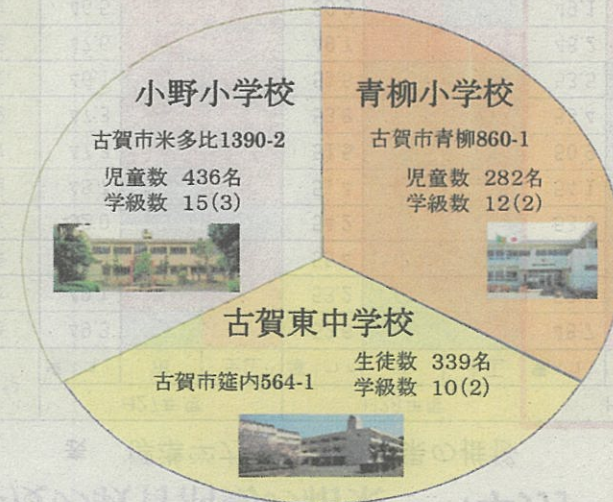
『自分を大切に思い、他を大切に子ども』
～自ら進んで学習する子、あいさつをする子、掃除をする子～

本年度の主な取組

- 1 夏期全員研修会「人権・同和教育講演会」
講師：福岡県教育庁教育事務所教育相談室
指導主事 重富 紀子
8月23日（木）10:00 リーパスプラザこが
- 2 小中連携授業改善研修会
公開授業：「算数科」第2学年1組、第4学年3組、第5学年1組
11月30日（金）13:50 小野小学校
- 3 三校の連携強化
 - ・「家庭学習推進週間」の実施
 - ・「弁当の日」の共通設定
 - ・「小中連絡会」の年2回の実施

平成29年度 古賀東中学校区連絡協議会「響育」の報告

古賀東中学校区内小・中学校の人権・同和教育の推進の基盤をつくり、3校が連携して9年間の子どもの育ちと学びを保障する。



小中連携授業改善研修会

平成29年11月30日

古賀東中学校区小中連携授業改善研修会：分科会

会場：小野小学校
授業：「算数科」第2、4、5学年
分科会：「えんたくん」を用いてのグループ討議
・授業に関する意見交換
・小中連携に関する内容



分科会「中学年」



授業第4学年「算数」



分科会「低学年」



分科会「高学年」

小中連携授業改善研修会

平成29年11月30日

古賀東中学校区小中連携授業改善研修会：分科会

「えんたくん」を用いて5～6名の小グループに分かれて協議を行った。

→親密度が増し意見交換が活発になった。

◇分科会に参加しての感想から

- 話し合うことの良さを知っている子ども達を育てるために、連携した取組みを今後も継続させていきたいと思います。
- 9カ年で一貫した学習形態の確立と、小中連携が不可欠であると再認識しました。
- 小学校での取組が中学校でも生かせるよう、今後も連携をとって「主体的に学ぶ」生徒の育成を進めていきたい。

51



書道クラブ お風のパフォーマンス

ご清聴、ありがとうございました。

古賀市立小野小学校

舞っ子体カアップチャレンジ2017
～把握・継続・実感



学年	性別	リポ	ボール	投げ	シャトル	ラン	反復	横跳	び	持久	走	立幅	とび	ボール	投げ
2	男子	×	×	○	×	×	×	×	○	○					
	女子	×	○	○	○	○	○	×	×	○					
3	男子	×	○	○	×	×	×	×	○	×				×	×
	女子	×	○	○	×	×	×	×	○	×				×	×
4	男子	×	○	○	×	×	×	×	○	×				×	×
	女子	×	○	○	×	×	×	×	○	×				×	×
5	男子	○	○	○	○	○	○	○	×	×				×	×
	女子	○	○	×	×	×	×	×	○	×				×	×
6	男子	○	○	×	×	×	×	×	○	×				×	×
	女子	×	○	×	×	×	×	×	○	×				×	×

古賀市立舞の里小学校 校長 佐々木 恵美子

課題把握

舞っ子体カアップチャレンジ2017
～把握・継続・実感

学校課題の把握
取組の趣旨説明
年間計画



行動体力

防衛体力

職員研修 体育主任

学年体力向上プラン

- ・学年毎の課題把握
- ・学年のゴールを明確化
- ・ゴールに向かうシナリオ
いつ
どこで
誰が
何を
どこまでやるのか

対応把握

学年の課題把握
課題に応じた活動選択



学年	課題	取り組み
1年生	ソフトボール投げ	みんなでドッジボールラリー
2年生	シャトルラン	みんなでジグザグ走
3年生	ソフトボール投げ	みんなでドッジボールラリー
4年生	反復横跳び	みんなで反復横跳び
5年生	ソフトボール投げ	みんなでドッジボールラリー
6年生	ソフトボール投げ	みんなでドッジボールラリー

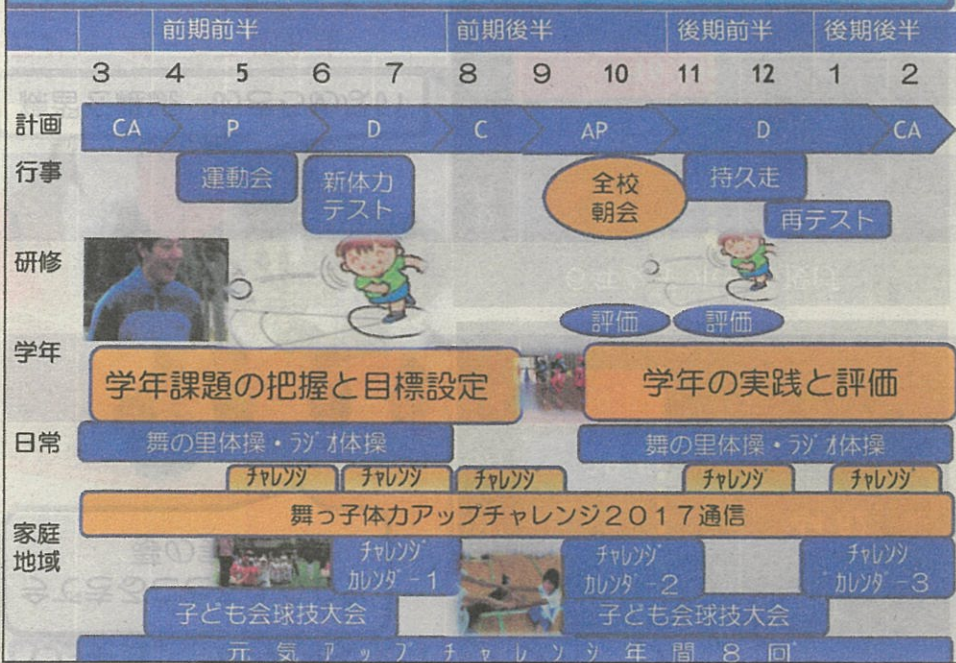
対応把握

学年目標設定

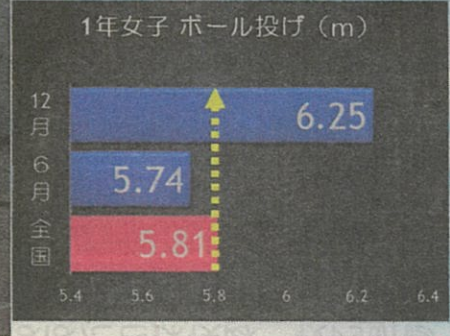
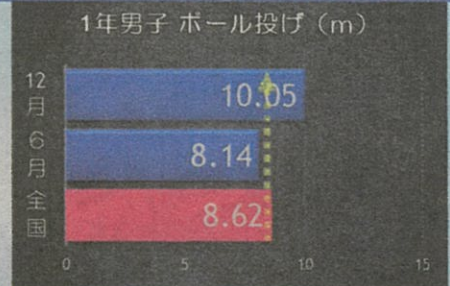
- ①学年課題の一つを全国平均に近づける→○
- ②課題に応じた運動を5分授業に位置づけ→○
- ③体カアップシート活用→○
- ④スポコン広場全学級登録→○



舞っ子体カアップチャレンジ2017 検証サイクル



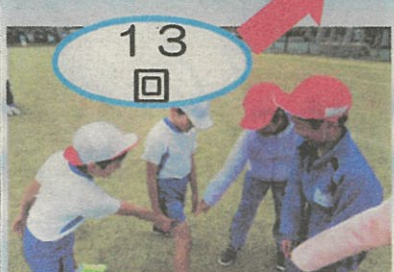
1年生 みんなでドッジボールラリー



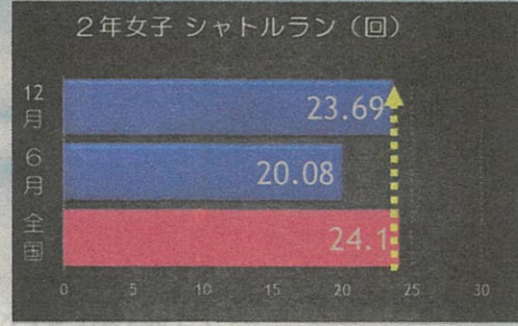
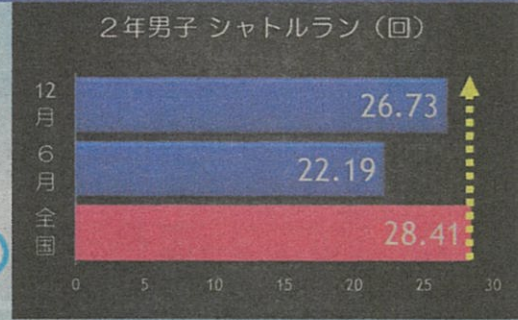
2年生 みんなでジグザグ走



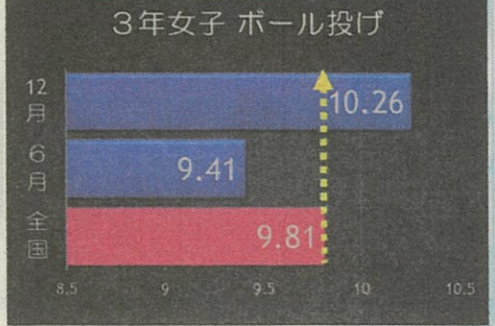
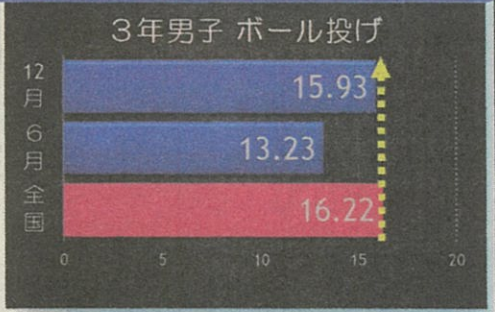
体育の前に みんなでジグザグ



友達同士で教え合い



3年生 みんなでドッジボールラリー



4年生 みんなで反復横跳び



友達と声を掛け合って
教室横に場の設定



4年男子 反復横跳び (点)



4年女子 反復横跳び (点)



5年生 みんなでドッジボールラリー

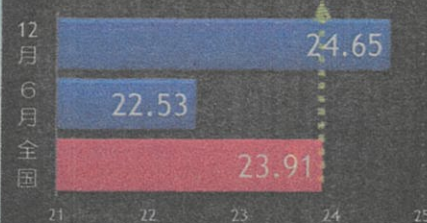


大学生の先生が作ってくれた
的で練習
チームで交流

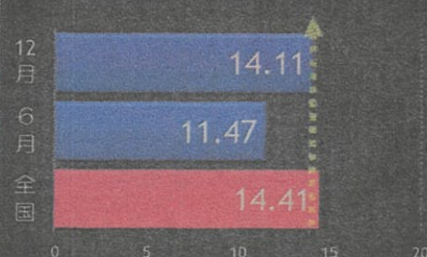


もっと記録を伸ばすために・・・

5年男子 ボール投げ



5年女子 ボール投げ



6年生 みんなでドッジボールラリー

今できることを100%
夢の実現



練習を継続 あきらめない

元Jリーガーの戸田先生
運動の楽しさや生き方を学ぶ

6年男子 ボール投げ



6年女子 ボール投げ



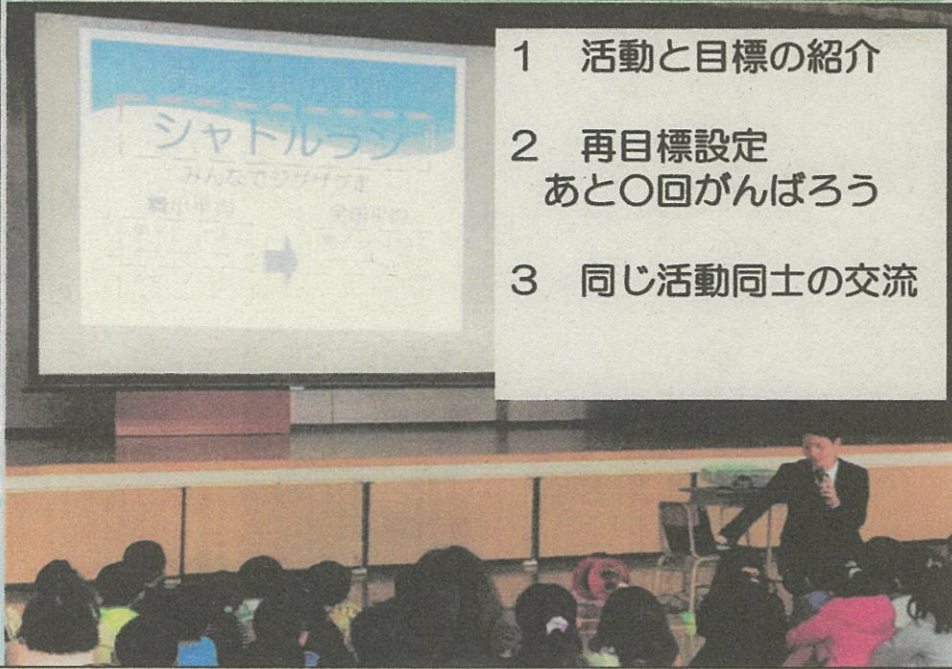
継続 宝物を手にいれよう はばたき探検隊 校内研修

変化とくり返しのある活動 場の設定



ゴールを明確

個の特性にあった支援



- 1 活動と目標の紹介
- 2 再目標設定
あと〇回がんばろう
- 3 同じ活動同士の交流



写真やイラストで見える化
家庭実践のポイント 動画サイト紹介
学年の取り組み紹介



チャレンジ種目を紹介します。
どの種目も簡単に取り組める種目ですから、ぜひ学級のみんなでチャレンジしてください。

みんなでドッジボールラリー



1つのグループが2つのチームに分かれ向かい合って並び、1つのボールを使ってキャッチボールを行い、3分間に何回受け止めることができたかを競います。

[> 楽しいせつめい <](#)

みんなで反復横とび



20秒間で、床に引いた3本の線を越したり踏んだりした回数から点数を出します。学級全員の点数を足して、人数で割った得点で競います。

[> 楽しいせつめい <](#)



ドッジボール&
しっぽとりチャレンジ

2月13日~22日

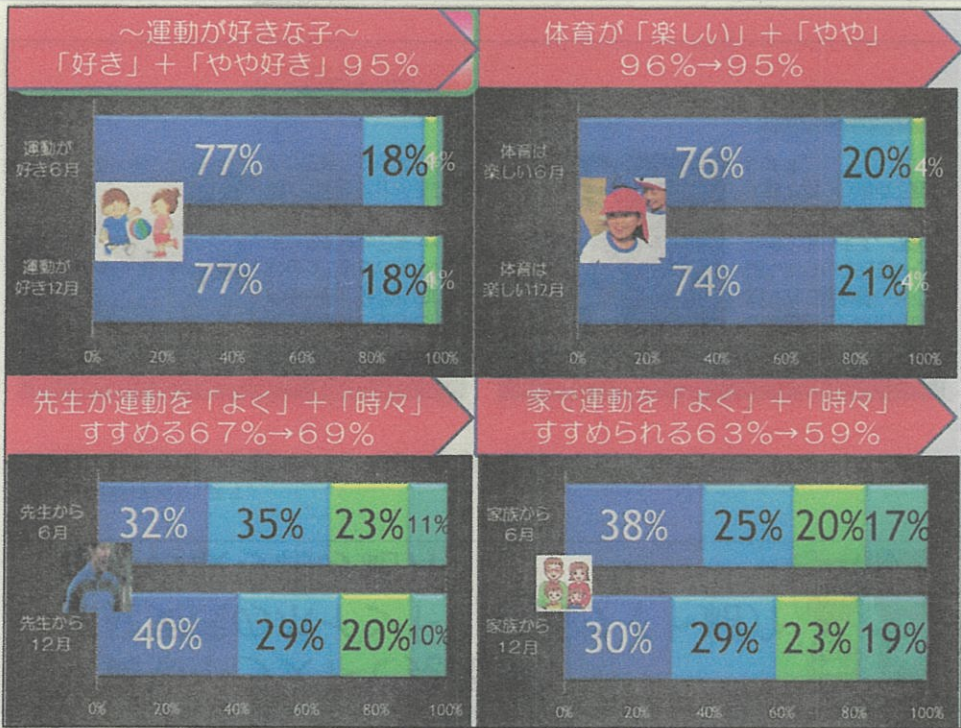
- ★ドッジボール (ボール投げ)
1, 3, 5, 6年
- ★しっぽとり (走)
2, 4年

チャレンジ鉄棒



チャレンジ縄跳び

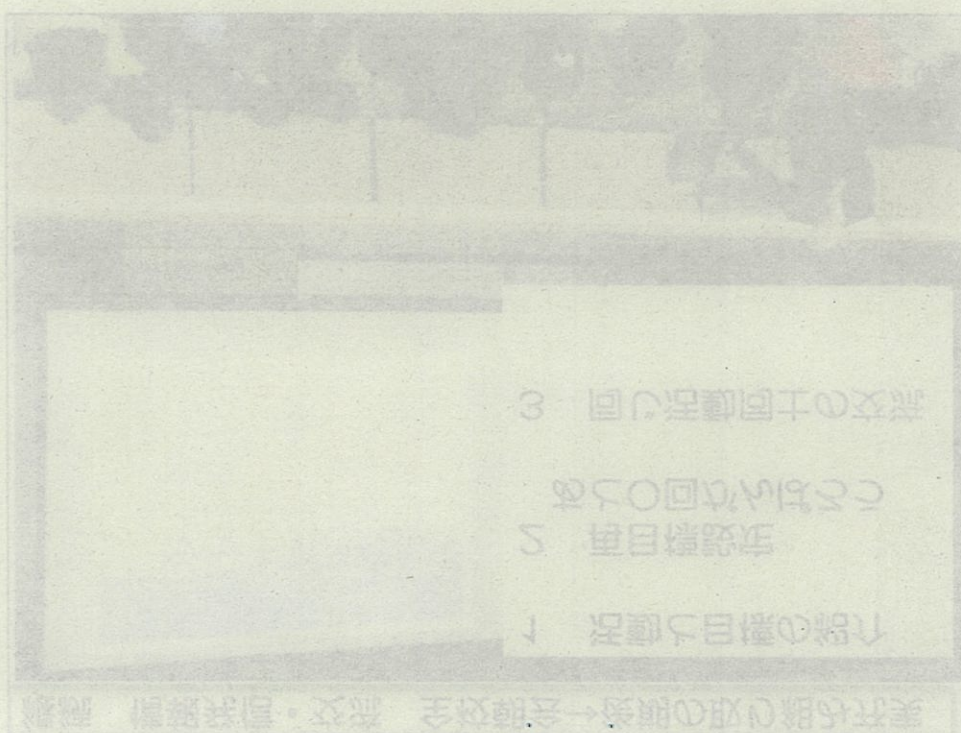




平成29年度 グランドデザイン報告会

舞 元気な心と体を持ち、他と共に学び合い
高め合う子どもの育成

舞っ子体カアップ2017
～把握・継続・実感～



花見っ子プロジェクト大作戦



2 職員を動かす仕掛け作り

- ① 先ず、自分自身が構想をしっかりと持ち、具体化する。
★認められる場・体験・外部・アンケート・学年で
- ② 次に、職員への周知と意欲化
 - ・「思い」を共有化し、「ゴール」を示すこと
 - ・「具体例」を示すと共に「独自性」を大切に
- ③ 活動中は「よさの賞賛」と「助言」
- ④ 「まとめ方」を示すことで「自己肯定感・有用感」の変容について自覚させる。



1 昨年度の反省から

○【知力】【体力】に比べて、【心力】の低さが目立った
【心力】：自己肯定感・有用感が低い

○自信がない、人の役に立っていないという気持ちが強い
よい子が多く、がんばっているのに
非常に残念！



「花見っ子プロジェクト大作戦」で
自己肯定感・有用感の向上！

※職員への周知と意欲化の例

＜自己肯定感・有用感の向上を図る取組について＞ 2018.5.12 校長

★本年度の3つの重点

【知力向上のため】
重点1：「基礎力」の育成
重点2：子どもを引きつけ、楽しく学ぶ授業づくり

【心力向上のため】
重点3：自己肯定感・有用感をもちつづける振り返りと体験の場の設定

【体力向上のため】
重点4：自発的な体力向上の取組と体育・教科の指導の充実

【教師力向上のため】
重点5：教師の指導力向上

↓

「花見っ子プロジェクト大作戦」

はじめに
○昨年度の6年生の取り組みを事例

1 「花見っ子プロジェクト大作戦」で大切にしたいこと（ねらいと内容等）

(1) 自己肯定感・有用感を向上させるための取り組みであり、単発ではなく、継続した取り組みであること
金銭なども、同様は行ってください。

(2) 体験を通して、自身の努力や他者からの賞賛を経て自信をもたせるようにすること
※必ず「体を動かす体験の場」と「賞賛される場」を設定してください。

(3) 学校内だけでなく、学校外でも取り組みを行い、教員以外の地域や家庭からの賞賛を受ける場を設定すること
※取り組みが学校内だけで終わらずに、「他者（教師、地域、家庭等の大人）」との関わりを留意してください。

(4) 前後で必ず記録（写真・動画）を取り、活用し、「よりよくなっていく」

2 「花見っ子プロジェクト大作戦」の取り組みの流れ

(1) 自己の優先度の整理や振り返りをする。

(2) 取り組みを行うこと（自分と子どものまじりについて考えること、気づかせる、継続的な体験（家庭・地域との連携）を行わせる。

(3) 賞賛又は関係的な賞賛の場を設定する。

(4) 自己の成長について振り返る。

3 「花見っ子プロジェクト大作戦」の「心」（半年間の振り返りに合わせて教師選択）

(1) あいさつプロジェクト
・低学年向き
・学校・地域・家庭でのあいさつを奨励。
特に家庭での挨拶を奨励することで、職員として保護者を満足し、賞賛等を得る大人等とどう関わり合っていくか賞賛は得られやすい。きれいになっても、子どもが挨拶を自ら見せるものとするのができ、それにより、本人の意識と達成感を得たと思われるし、保護者からの賞賛も得られやすいのでは？

(2) クラウンプロジェクト
・地域の公園遊びなどを行う取り組みで、比較的取り組みやすい。問題は、他者（地域の大人等）とどう関わり合っていくか賞賛は得られやすい。きれいになっても、子どもが挨拶を自ら見せるものとするのができ、それにより、本人の意識と達成感を得たと思われるし、保護者からの賞賛も得られやすいのでは？

(3) 花いっぱいプロジェクト
・中年度、福祉の部会などで児童委員会がプランナーに花を植え、東1区の民館へ届けた。当時は、公民館長の申しさんにもきていただき、ちよとしたをメモして、申しさんへ賞賛の言葉をいただきました。賞賛の場だけでなく、感謝もしたいので、そのお礼も必要である。

(4) 守りぬきプロジェクト
・これまで、6年生が保護者と今年記念帳をしてきたし、昨年度は4年生も保護者と記念帳を作った。保護者ネット花見という場を守る（団体とユラギ）というので、事例の活用（これまた加筆をつけてきた部分等）もできるし、継続で作業できる。さらに、お礼の手紙で大賞の賞状をもらえるので、やりがいもある。また、地域で実施されているので、それに参加しやすく、さらに、地域の宝を守る活動でもあるので、意義深く、賞賛も得やすい。

★その他、例えば、いろいろな活動が思いつく。最後は、いろいろありますが、①は「自己肯定感・有用感向上」のため、「自信をもたせる」ための取り組みであり、「他者（学校・地域・家庭）」と関わり合っていくことで、賞賛を受けられる。さらに賞賛の場を設定することで、自信をつける。②は「自分だけの取り組み」のように、同じ取り組みを複数回行ってほしい。③の取り組みは、具体的な方法がなかったので、なかなか自己肯定感・有用感向上させることができなかったという反省があります。本年度は、「なにか具体的に動く」ということを大切にしたい。また、5月は運動会ですの、5月中旬にあわせて、こうでもない構想を練ってほしい。6月になったら、申しさんへお礼をいきたいと思います。

3年生の実践

- 1 プロジェクト名：花見っこ3年 あいさつ大作戦
- 2 ねらい
 - ・登校してくる児童に、自ら進んで挨拶をし、挨拶した児童や交通当番をされている松原ネットの方々との交流を通して、自己肯定感・有用感の向上を図る。
- 3 具体的な活動内容
 - ・校門前で登校してくる児童に自分たちから元気よく挨拶をする。
 - ・松原ネットの方々に、3年生の挨拶の様子をみてもらい感想をきかせてもらう。



4年生の実践

- 1 プロジェクト名：優しい街づくり大作戦（身の周りの人と交流しよう）
- 2 ねらい
 - ・自分たちにできるボランティアについて考え、実施する活動を通して、自己肯定感・有用感の向上を図る。
- 3 具体的な活動内容
 - ・目や耳の不自由な方との交流を行い、様々な生活があることに気づく。
 - ・誰もが幸せに暮らせる地域を作るために、自分たちにできるボランティア活動について考え、実践活動を行い、それを発表する。



5年生の実践

- 1 プロジェクト名：グリーンプロジェクト大作戦
- 2 ねらい
 - ・芝生委員会の方々との交流や芝生の維持活動を通して、自己肯定感・有用感の向上を図る。
- 3 具体的な活動内容
 - ・芝生委員会の方々に招き、学年討論会を行い、関心を高める。
 - ・芝生除草作業を実際に行うと共に、他学年に芝生のよさや芝生の大切さをポスター等で伝える。



6年生の実践

- 1 プロジェクト名：花見っ子の恩返し大作戦
- 2 ねらい
 - ・松原ネットの方々との交流や植樹等を通して、自己肯定感・有用感の向上を図る。
- 3 具体的な活動内容
 - ・松原ネットの方々に活動と松林に対する思いを聞き、自分たちにできることを話し合う。
 - ・松葉かき、植樹等の活動を行うことで、自分たちの感想と松原ネットの方々の気持ちを確認する。



4 効果が高かった実践から

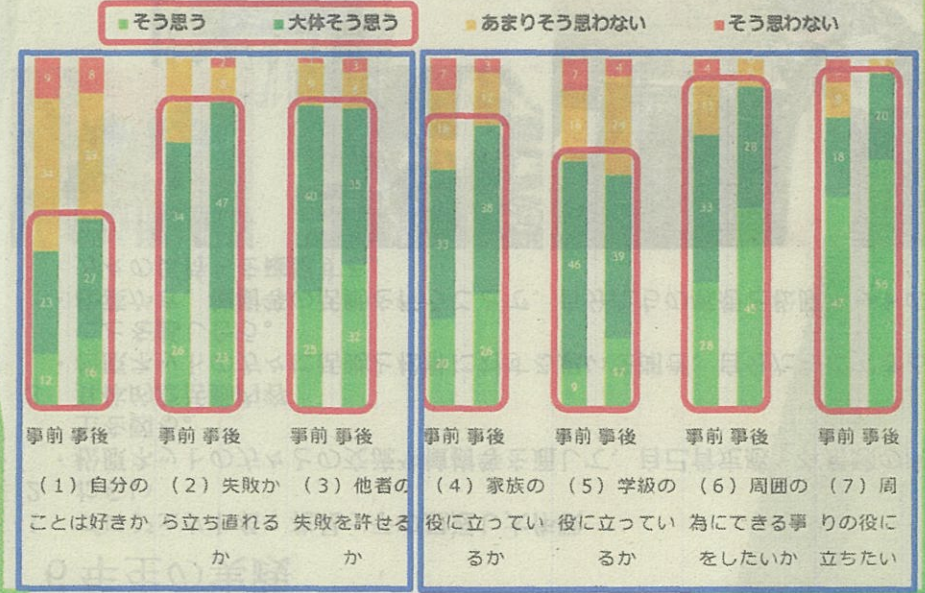
< 4年生の取組の概要 >

- ①目や耳の不自由な方との交流の場を設置。
- ②ボランティア団体にも協力を依頼。
- ③交流後、自分達できるボランティアについて考えさせる。
- ④実践の前に、社会福祉協議会等に、自分達の考えの発表の場を設け、活動に対する価値付けをして頂いた。
- ⑤少人数のグループ毎に活動内容を発表し、意欲化を図る。
- ⑥フェスタで、地域の方に発信し、良かった点をアンケートに記入してもらおう。
- ⑦実践後、振り返りを行い、外部団体の方から、今後の意欲化を図る話をしてもらう。



4 効果が高かった実践から

アンケート結果（学年）



4 効果が高かった実践から

(1) 成果

- 「身近な人と交流しよう」の学習において、実際に目や耳の不自由な方と接する体験を行った上で、周囲の人の為に自分ができることを具体的に考えさせたので、進んで行動したいという実践意欲を高めることができた。
- 実践意欲の高まりにより、自己肯定感に関する項目においても、全学年とも伸びが見られた。

(2) 課題

- 意欲の高まりはみられたが、日常生活において実践に繋がっていない児童が見られるので、今後、プロジェクトで学んだことを日常生活に生かす指導が必要である。
- 学級間での開きが見られたので、学年での共通理解をしっかりと深めていく必要がある。



5 まとめと来年度へ向けて

(1) 成果

○どの学年も事前事後アンケートの比較より高まりが見られ、本取組が自己肯定感・有用感の向上に寄与したことがわかる。

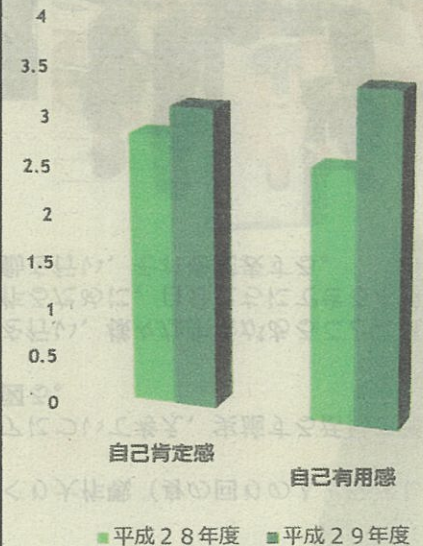
※全校児童に対する生活アンケート結果も同様

○各学年の特色を生かした様々な工夫が見られ、学年主任のリーダー性及び学年のチーム力の向上にも効果があった。

(2) 課題

○学年による取組の差（内容や意欲）が見られたので、学年会におけるアドバイス（管理職・主幹教諭等による）がより必要と考える。

自己肯定感・有用感の変容



5 まとめと来年度へ向けて

(3) 来年度へ向けて

○来年度は、古賀市の研究指定（生活科・社会科）を受けて3年目の発表の年、国語・算数も含めて、教科指導に一層の力を入れていきたい。

○家庭・地域との連携を図りながら、体力・心力にもより力を入れていきたい

○本年度の自己肯定感・有用感の高まりを土台とし、その成果を生かした新しい知徳体の向上を目指す取組を図る。



花見っ子プロジェクト大作戦

ご静聴ありがとうございました



古賀市立花見小学校
校長 平野 昌数

平成29年度 古賀北中学校グランドデザイン



平成30年2月15日
古賀市立古賀北中学校
校長 森 明浩

郵便はがき
8113113
福岡県古賀市千鳥四一四一
古賀市立
古賀北中学校御中

B0283組 260466

謹賀新年

さわやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
先日の十一月二十三日、古賀駅近辺におきまして、私が身椅子で上り坂に悪戦悪闘していたとき、「押し込まれようか？」と声をかけられた莫と申します。ほとんどの方が私が坂道に苦戦している姿を眺めていく中、あなただけから温かい言葉をかけてくださるまなざしには、本当に心を救われました。そのときの私に息も絶え絶えで「いいですか？ ありがとうございます」という言葉も満足に言えず、おそらくあなた様は「いいです」と断られたと感ぜられたと思います。けれども、まったく迷惑だなんて感じていませんでした。ご友人様方と一緒に帰られているなか、本当はご友人様と話したいこともあるけれど、手紙を申し入れてくださったこと、家が出そうなのに帰らなかったこと、そのため、きちんとお礼を伝えられなかったことをとても後悔しています。あなただけの優しさ、昨年中のなかで一番心に残っております。本当にありがとうございます。

本年度の重点目標と方策

生徒の状況(生活アンケート全国比より)

自尊心 +6ポイント
主体性 -3ポイント
地域参加・協働性 -4ポイント

①主体性・協働性の向上

指標:4月のアンケート結果よりUP

方策:「生徒会活動」「北中校区もりあげ隊活動」
「学校行事」「キャリア教育」

②学力の向上

指標:4月の県標準比より3ポイントUP

方策:「授業力の向上」「少人数授業や補充授業」

③基本的な生活習慣の定着

指標:4月の生活アンケート結果より3ポイントUP

方策:「北中五則」

生徒による主体的な活動

「北中五則」の徹底や学校行事を通じた
「生徒会による主体的取組」の実施

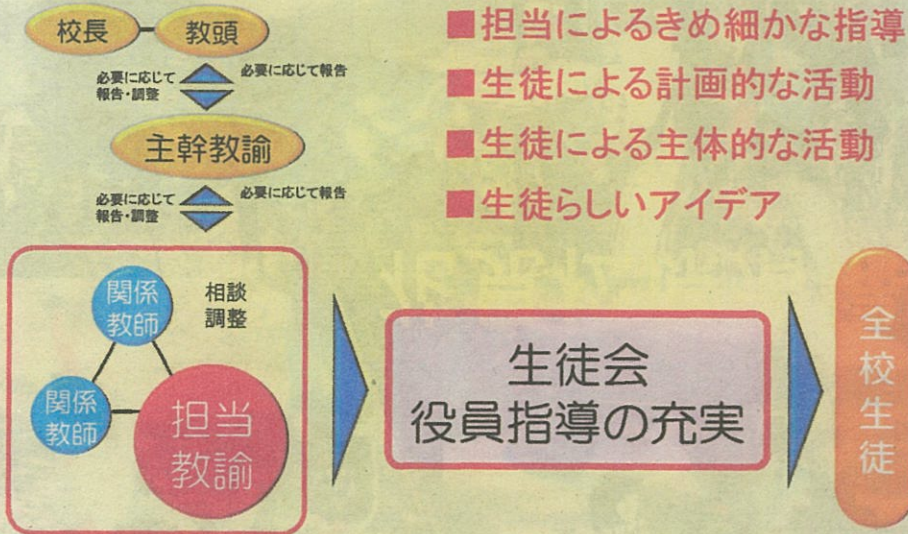
目的

社会参画基礎力の要素である
「生徒の主体性、協働性」を高める

◇当たり前のことを当たり前に行い、全校生徒でこだわり、
みんなで成長していこう!

◇学校、地域、社会のために自分ができることに気づき、
積極的に行動しよう!

生徒による主体的な活動



生徒会役員への研修会



生徒による主体的な活動

■今年度の取組

月	コンクール名	委員会
6月	残食ゼロコンクール	給食
7月	黙働清掃コンクール	整美
9月	Return the bookコンクール (未返却者ゼロ)	図書
10月	0825コンクール (8:25着席完了)	生活
12月	全クラスオール4をとろう	学習

■点数(各コンクール)

・1位50点、2位30点、3位10点を加算

▶ ベスト3を学級を訪問して表彰+全校集会で表彰

生徒会による凡事徹底の取組の表彰



地域貢献活動

校区の活動にボランティアとして参加する
「北中校区もりあげ隊」の実施

目的

社会参画基礎力の要素である
「生徒の主体性、協働性」を高める

- ◇地域の活動に参加し、地域の人々との連携・交流を図ろう！
- ◇地域の活動に参加し、郷土「古賀」をみつめ、郷土を愛そう！
- ◇主体性を高め、ボランティア精神を養おう！



前年度との比較と伸び

	依頼数	参加のべ数	全校生徒比
平成28年度	30	239	36%
平成29年度	33	381	63%
前年比	1.1	1.6	1.8

平成30年1月31日現在



杷木中学校へ募金を届ける生徒会



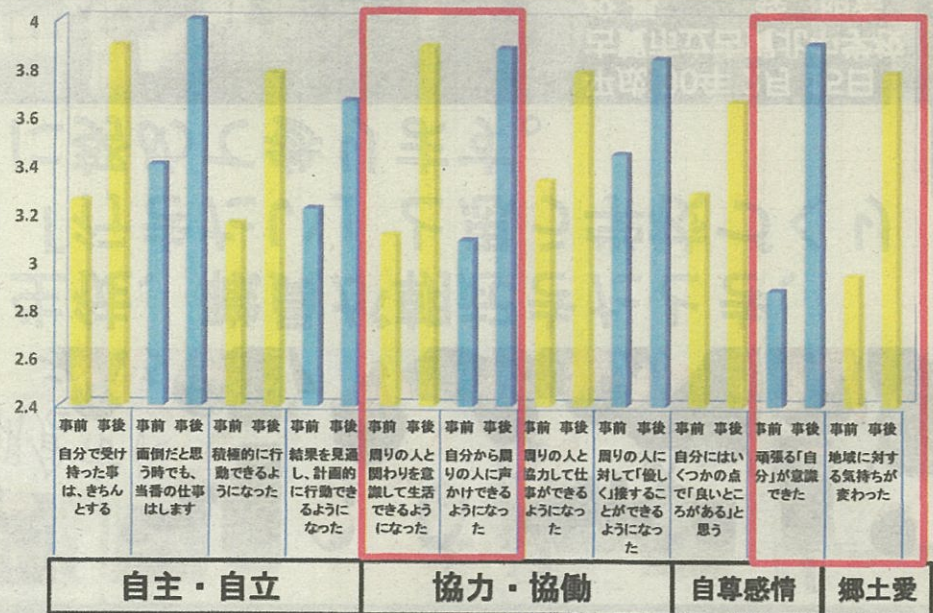
支援をいただいた皆様へ

このたびは、災害にあたって、数多くの支援をいただき本当にありがとうございました。7月5日の九州北部豪雨により、私たち杷木中学校を含め、朝倉市の6つの中学校は、7月10日より夏休みに入りました。杷木中学校の生徒の中には、自宅が被害に遭った人が多くいます。夏休みは、地域の泥だしや復旧作業などのボランティアに多くの人に参加しました。

8月21日、10日前倒しになって始まった2学期。みんなで一歩ずつ日常を取り戻そうと学校生活を送るなど毎日の生活を送る中、支えになったのが、皆さんから数え切れないほどたくさんの温は多くの人から見守られ、支えました。そんなみなさんに「あて全員で頑張っています」とい成しました。その内容は、2つ1つは、『ビデオメッセージリに伝えたいメッセージを書き、ました。一人一人が映っているです。その中には、9月末まで



主体性・協働性の生徒アンケート結果



感謝状

平成29年12月6日

古賀北中学校 校長先生
 3年生 福島 慎之右 くん
 小松 竜誠 くん
 筒井 拓海 くん
 伊野

突然のお手紙、
 福津市の藤田と

先日、私の両親が
 木工小中 母が足

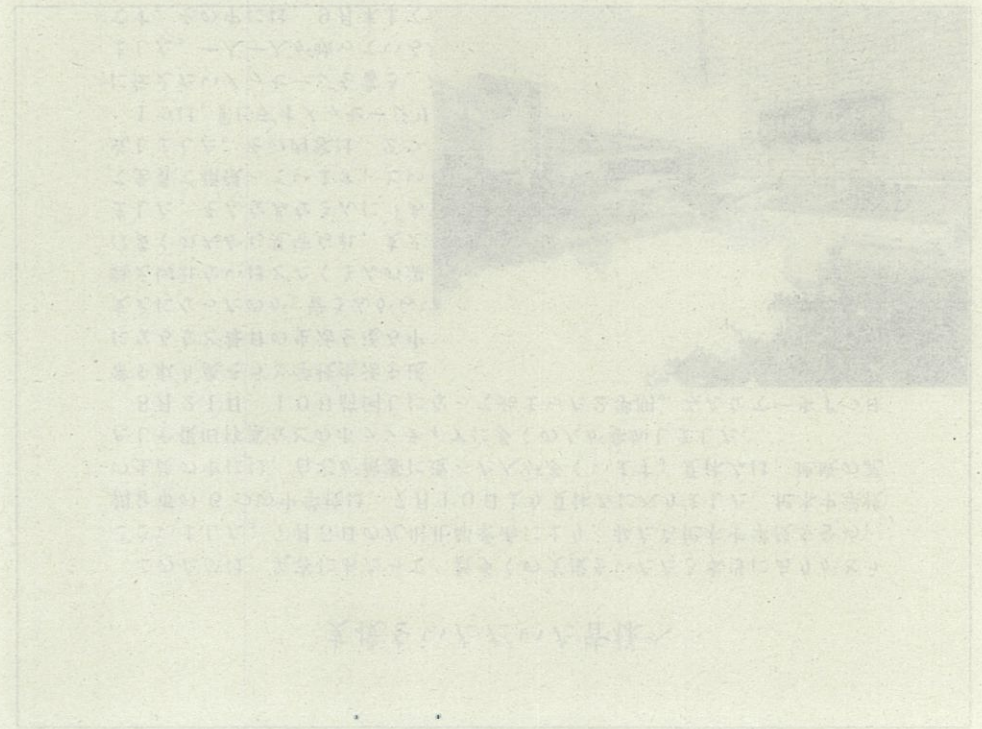
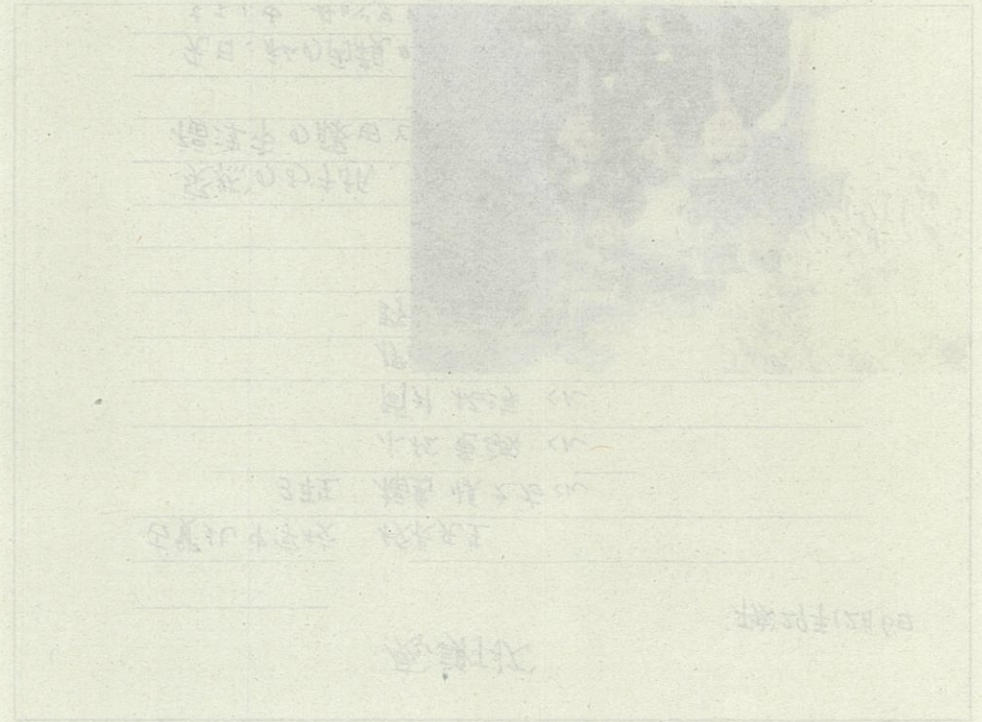


平成29年度 古賀北中学校グランドデザイン



生徒、職員が朝起きたとき、
「行きたい」と思う学校づくりに努めて参ります。

平成30年2月15日
古賀市立古賀北中学校
校長 森 明浩



平成29年度 古賀市学校教育グランドデザイン報告会

「千鳥小学校 学校経営」について 古賀北中学校校区「協育」計画について



古賀市立千鳥小学校 校長 神崎 美春

平成29年度 重点目標

- (1) 「わかる授業づくり」をもとに、
学力の向上を図る。
- (2) 「PTCA 千鳥小学校」を推進する。

児童の実態

取組の成果

【焦点化した取組】

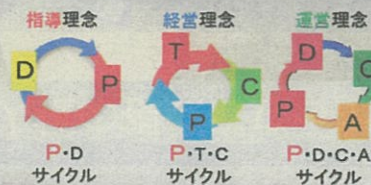
平成29年度 学校教育目標

確かな学力と豊かな心をもち、
千鳥の地を愛する子どもの育成

平成29年度 重点目標

- (1) 「わかる授業づくり」をもとに、
学力の向上を図る。
- (2) 「PTCA 千鳥小学校」を推進する。

教育目標達成のための「基本姿勢」



千鳥小の
3つの「Pサイクル」



重点目標の達成に向けての振り返り【焦点化に向けて】

前期前半の学校評価（職員の自己評価）

	1	2	3	4
総合評価				
意欲的に学び、考え合う子ども				2.82
心豊かで思いやりのある子ども				3.00
明るく健康的で元気に遊ぶ子ども				3.24
学力向上プランを適用して学力向上に取り組み、評価・改善に努めた。				2.93
子どもと一緒に「めあて」と「まとめ」をつくる授業を行った。				2.73
「地味授業（問題解決学習）位置づけた単元構成の工夫を行った。				2.87
「すり込む授業」（講義的授業・ドリルの指導）を位置づけた単元構成の工夫を行った。				3.43
全ての学習において「承認、称賛、激励」を意識しながら指導した。				3.20
人権の視点をもとに、「自他を大切に作る授業づくり」を行い、主題解決の日常化を図った。				3.07
保護者と連携して家庭学習の充実を図った。				3.07
全教科を通して、交流の場を設定し、言語活動の充実を図った。				2.87
読書の活動の充実を図った。				3.09
少人数学習対応講師、課題対応、小1フロム対応、特別支援教育支援員、児童支援、を活用し、個に応じた指導を行った。				2.53
学習支援アシスタント（のびのび学習等）やG.T（地域の教育力）の有効活用を図った。				2.83
子どもたちが積極的に地域行事へ参加できるよう指導を行った。				2.35
千鳥校区の教育資源（人・もの・こと）を活用して教育実践を行った。				2.56
家庭や地域に対し、学校経営への協力や学校行事への参加を促す取組を行った。				2.81
地域行事、PTA活動に積極的に参加した。				2.88

めざす子どもの姿の評価では「学び」についての項目が低い

日常の指導の工夫・改善に関する項目の評価が高い

学力向上に向けて、日常の指導の工夫・改善に積極的に取り組んでいるが、十分な成果が上がっていない。

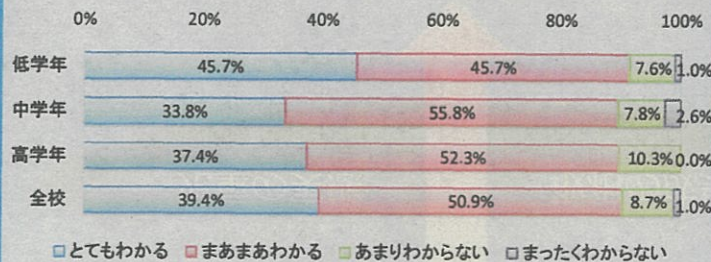
地域との関わりに関する項目の評価が低い

地域の教育資源を生かして教育実践の取組、教師の地域への関わりが十分ではない

重点目標の達成に向けての振り返り【焦点化に向けて】

前期前半の学校評価（児童生活・学習アンケート）

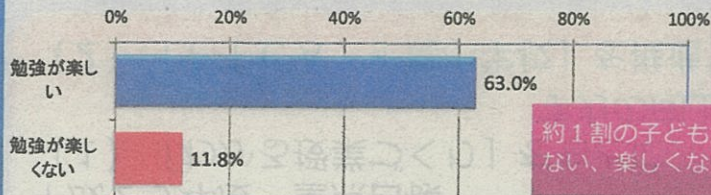
勉強がわかると感じている子どもの割合



90%の子どもが、勉強はわかると感じているが、わからないと感じている子どもが10%いる。

学校生活の中で、勉強が楽しくないと感じている子どもが、11%いる。

学校生活の中で勉強が楽しいと感じている子どもの割合



約1割の子どもが、勉強がわからない、楽しくないと感じている。

【重点目標の焦点化】

重点目標（1）

「わかる授業づくり」をもとに、学力の向上を図る

焦点化した重点目標（1）

「授業がわかる・楽しい」と感じる子どもの育成

- ・「勉強がわかる」という子どもの割合をふやす
- ・「勉強が楽しい」という子どもの割合をふやす
- ・「勉強が楽しくない」という子どもの割合をへらす

- 人権の視点に立った授業づくり（承認・称賛と激励を大切にした指導）
- 地域と連携した学習（のびのび学習）

重点目標（2）

「PTCA」千鳥小学校を推進する

焦点化した重点目標（2）

「挨拶ができる」子どもの育成

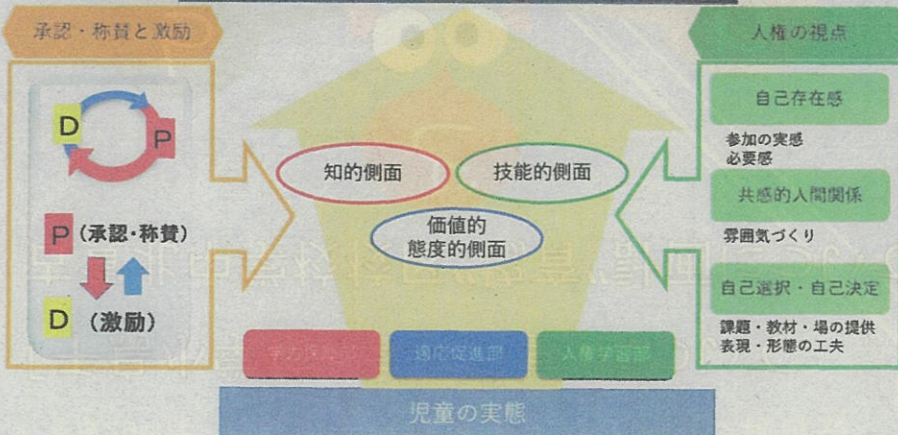
- ・自分から挨拶できる子どもの割合をふやす
- ・地域行事に参加する子どもの割合をふやす
- ・地域の人に挨拶できる子どもの割合をふやす

- 全校挨拶運動
- 地域の教育資源を生かした取組

【授業がわかる・楽しいと感じる子どもの育成】に向けて

人権の視点に立った授業づくり

自らを鍛えて成長を喜び、自他を大切にする子ども



【授業がわかる・楽しいと感じる子どもの育成】に向けて

人権の視点に立った授業づくり



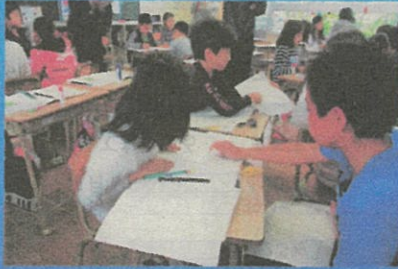
自己選択・自己決定の場の設定



自己存在感を感じさせる場の設定

【授業がわかる・楽しいと感じる子どもの育成】に向けて

人権の視点に立った授業づくり

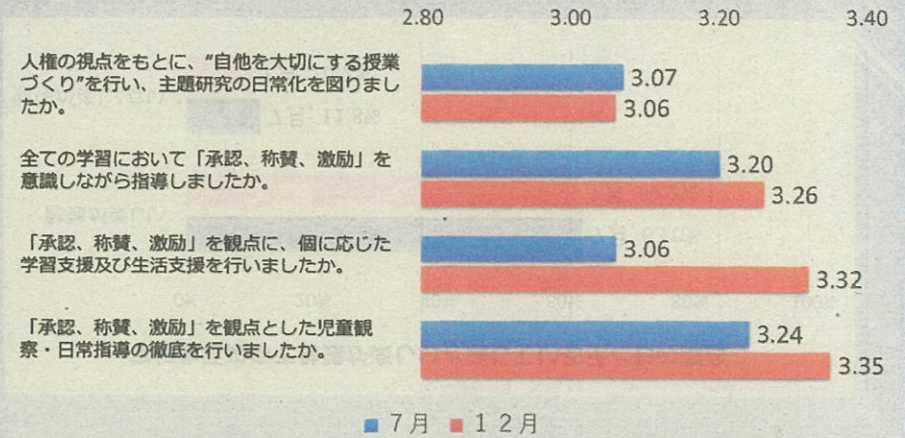


共感的人間関係を
を育む交流活動



【授業がわかる・楽しいと感じる子どもの育成】に向けて

職員自己評価



【授業がわかる・楽しいと感じる子どもの育成】に向けて

のびのび学習（地域との連携）



地域の学習支援アシスタント
を活用した補充学習



- 基礎的学力の向上
- 規範意識の向上

【授業がわかる・楽しいと感じる子どもの育成】に向けて

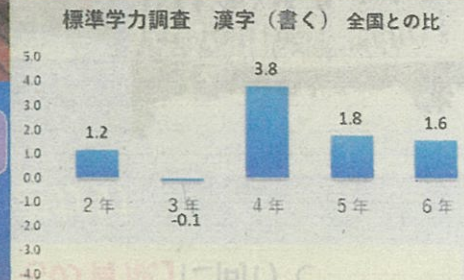
のびのび漢字チャレンジ



昨年度の標準学力調査で課題があった「漢字」の向上をめざす

年度末に「校内漢字検定」を実施する

標準学力調査の結果から

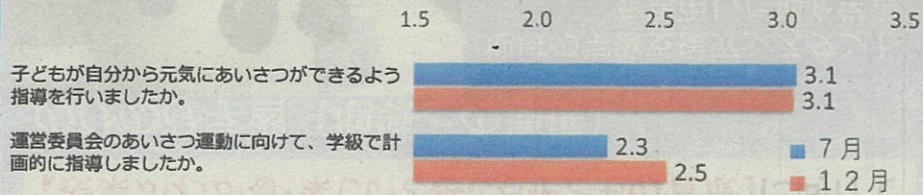


【挨拶ができる子どもの育成】に向けて

全校あいさつ運動



職員自己評価



【挨拶ができる子どもの育成】に向けて

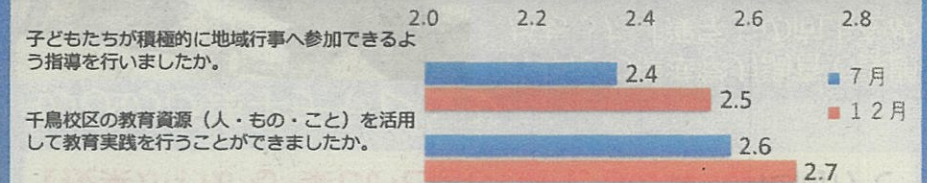
地域行事への参加の働きかけ



校区コミュニティ防災訓練

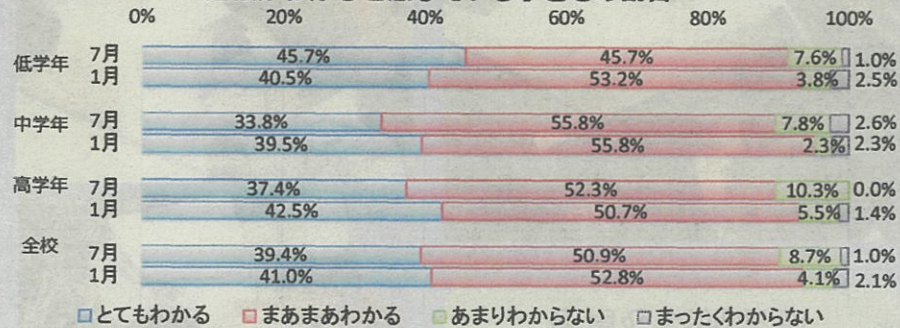
校区一斉ラジオ体操

職員自己評価

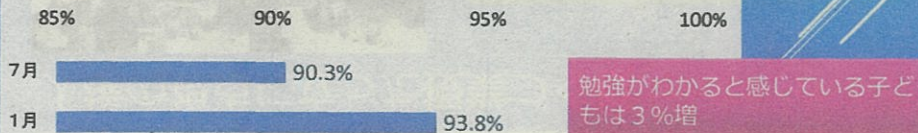


取組の評価【授業がわかる・楽しいと感じる子ども】

勉強がわかると感じている子どもの割合

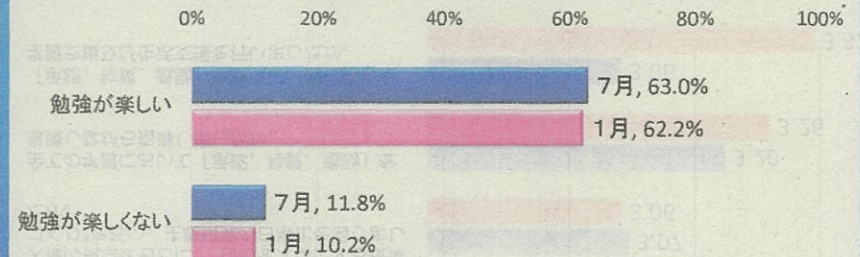


勉強がわかると感じている子どもの割合



取組の評価【授業がわかる・楽しいと感じる子ども】

学校生活の中で勉強が楽しいと感じている子どもの割合



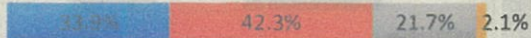
勉強が楽しいと感じている子どもは、0.8%減
勉強が楽しくないと感じている子どもは、1.6%減

取組の評価【挨拶ができる子ども】

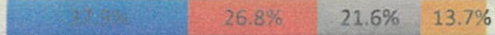
挨拶ができる子ども

0% 20% 40% 60% 80% 100%

先生や友だちに、大きな声で自分から進んであいさつができましたか。



地域の行事に、進んで参加できましたか。



地域の人に、自分から進んであいさつができましたか。



■ できた ■ だいたいできた ■ あまりできなかった ■ できなかった

自分は、挨拶ができているとらえている子どもは80%未満
地域の行事に参加している子どもは、全校に比べると高い

次年度に向けて



千鳥小のよさを生かした取組を進めます



平成29年度 古賀北中学校区"協育"計画

古賀北中学校区連絡協議会教育概要

- 千鳥小学校 ■ 花見小学校
- 舞の里小学校 ■ 古賀北中学校

古賀北中学校区連絡協議会

千鳥小学校



花見小学校



舞の里小学校

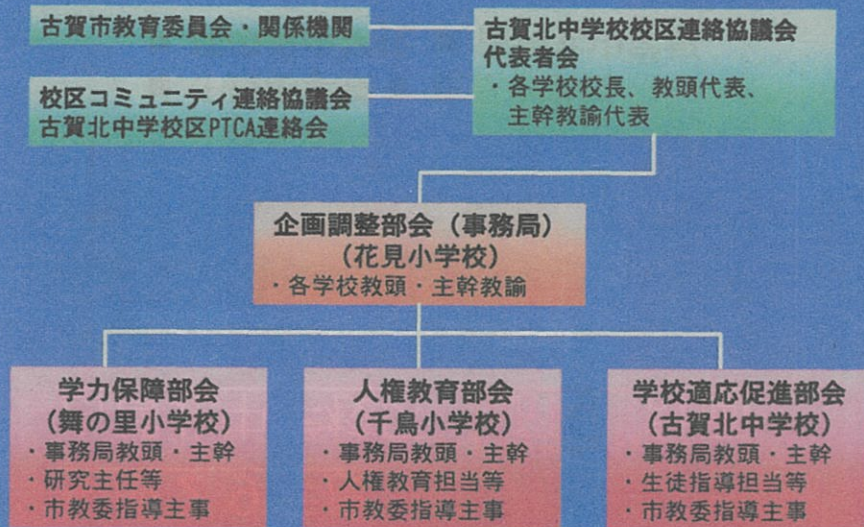


古賀北中学校



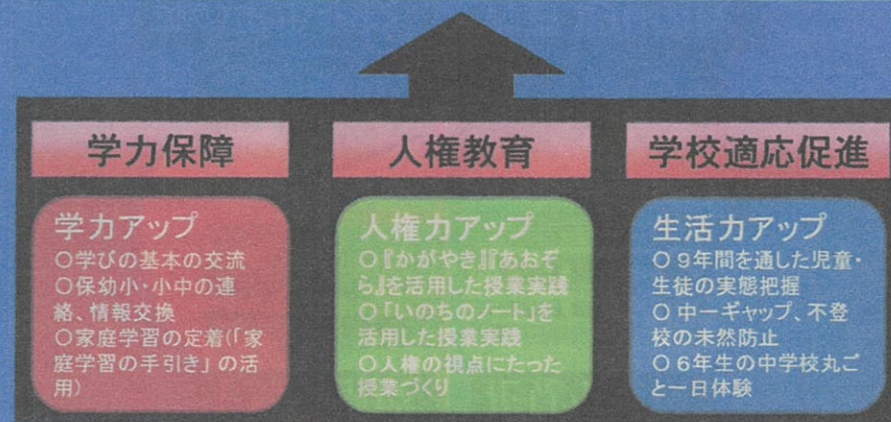
人権教育の基盤、9年間子ども達の育ちと学びを保障

古賀北中学校区連絡協議会の組織



めざす子ども像

自分を大切に思い、他を大切にできる子ども



人権教育の基盤、9年間の子どもの育ちと学びを保障

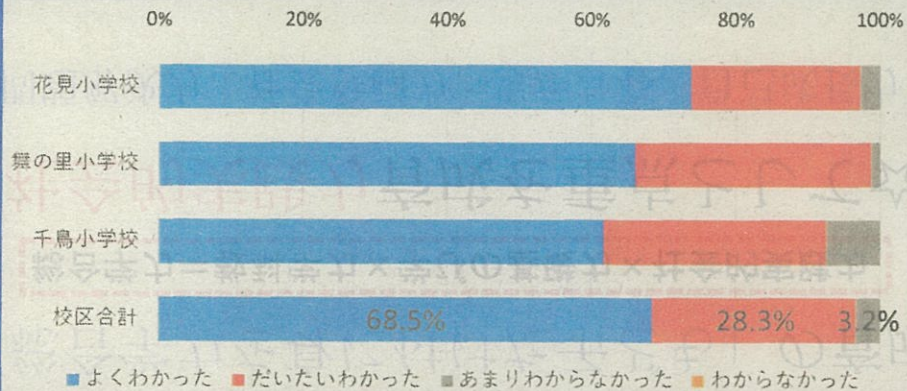
一日まるごと体験での「協育」



花見小 10月2日 (月)			舞の里小 10月3日 (火)		千鳥小 10月4日 (水)	
1組	2組	3組	1組	2組	1組	2組
朝の会・学校探検						
保体	保体	保体	保体	保体	技術	家庭
国語	数学	数学	社会	英語	理科	数学
理科	国語	英語	国語	社会	英語	英語
英語	英語	社会	数学	理科	保体	保体
部活体験						

この日は、給食、掃除、昼休みも中学生と同じように生活します。

まるごと体験 アンケート結果



- 生徒会や中学生が優しく接してくれたおかげで、中学校に対するイメージがよいものになった。
- 児童が、中学校の広さを感じ、素早く行動しようとする姿勢がみられるようになった。

【2】まるごと体験の感想を書いてください。
 前日体験、中学校を回り、お話を聞いたりして、とても楽しかったです。下宿生活も体験して、先住の先生が優しく接してくれて、とても良かったです。お話を聞いたりして、とても楽しかったです。

【3】まるごと体験の感想を書いてください。
 まるごと体験で、中学校で学ぶことの大切さや、校内のことについて、たくさん話を聞いたりして、とても楽しかったです。中学校に入学するの楽しみが増えました。

【4】まるごと体験の感想を書いてください。
 まるごと体験は、とても楽しかったです。英語や家庭科の授業も体験して、とても楽しかったです。中学校生活への期待が湧いてきました。

不安の解消

現在の自分のめあて

中学校生活への期待

人権教育総合推進地域事業

主 題 自分を大切に思い、他を大切にする子どもの育成

副主題 ~学校・家庭・地域が連携した教育活動を通して~

目 的 学力向上と不登校の解消

内 容

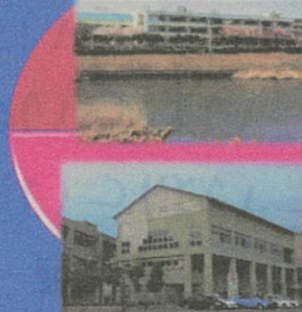
小・中学校で連携した「人権教育部」「学力保障部」「学校適応促進部」の取組

実施計画(1年次)

- 家庭学習の手引きの作成
- いのちのノート活用授業研究会
- 中学校丸ごと一日体験
- 公開授業・実践交流会(千鳥小学校) 平成30年10月24日(水)

千鳥小学校

花見小学校



舞の里小学校

古賀北中学校

ご清聴ありがとうございました

古賀市立古賀西小学校 グランドデザイン報告



本校キャラクター
「西ぼっくり」

古賀市立古賀西小学校
校長 野中 慎治

本年度のめざす子どもの姿

西っ子 3つのいっぱい運動

笑顔いっぱい
挨拶いっぱい
歌声いっぱい



本年度の重点目標

「総合学力を身に付けた子ども」の育成

総合学力 = 教科学力 × 学びの基礎力 × 社会的実践力

☆社会的実践力育成を重点として☆

問題解決力、社会参画力、豊かな心、自己成長力

重点目標達成のための方策

ふるさと古賀を愛し、社会的実践力の育成

■地域の特色や強みをいかしたダイナミックな総合的な学習の時間のカリキュラム作成と実践■

～地域の教育資源を最大限に活用した取組～

教師の実践的指導力の向上と子どもが達成感を味わう学習の展開

第6学年総合的な学習の時間

響かせよう 古賀の宝



本校キャラクター
「西ぼっくり」

社会に開かれた教育課程とカリキュラムマネジメント

■地域の特色や強みをいかした総合的な学習の時間のカリキュラム作成と実践■

～地域の教育資源を最大限に活用した取組～



6年生総合的な学習の
カリキュラムデザイン

社会的実践力の育成

他教科等との関連

社会科「縄文の
村から古墳の国
へ」

国語科「町の
未来を描こう」

音楽科「ふるさと」等の合唱指導

総合的な学習 単元
「響かせよう！古賀の宝」



いのち輝くまち

浜の運動会



ハマボウ祭り



他の教育活動との関連

6年生児童の実態

・総合的な学習の時間が好きではない
・自分で課題を見付け、解決し、表現する力が不十分





松林を大切に思う地域の方の思いを受け継いでいきたい。
美しい松林は、古賀の宝なんじゃないかな。もっといろんな
人に知ってほしい。



昨年、ペシャワール募金を西小の代表
が直接中村哲さんに渡しました。

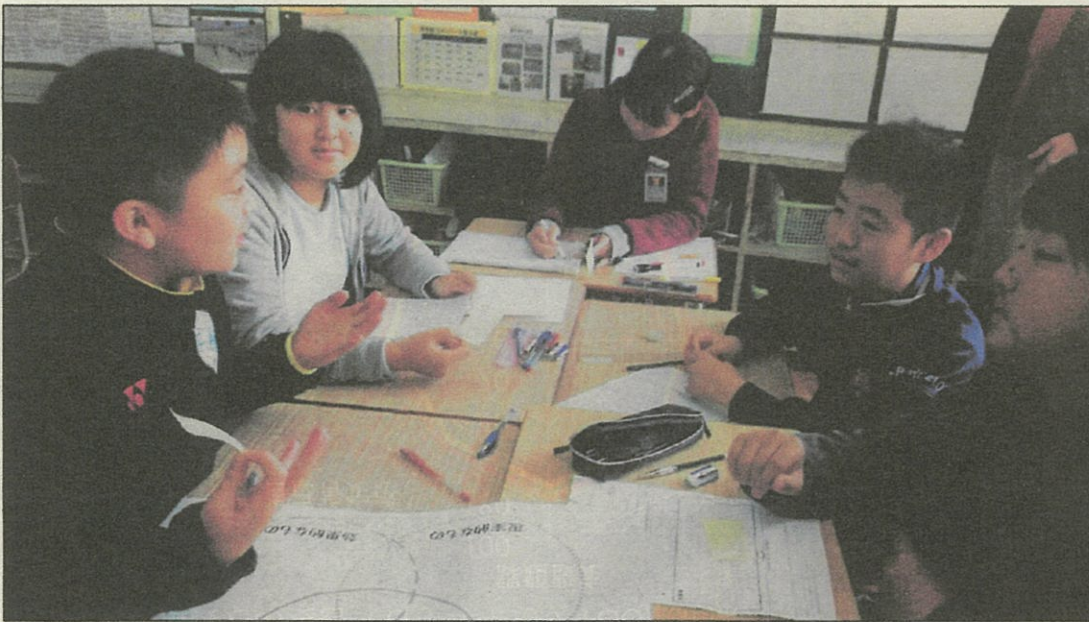


学校の近くに海岸があるよさを感じ、6年生全員で力を
合わせて作品をつくりあげ、これまでにない達成感を味わ
いました。この魅力をいろいろな人に伝えていきたいです。



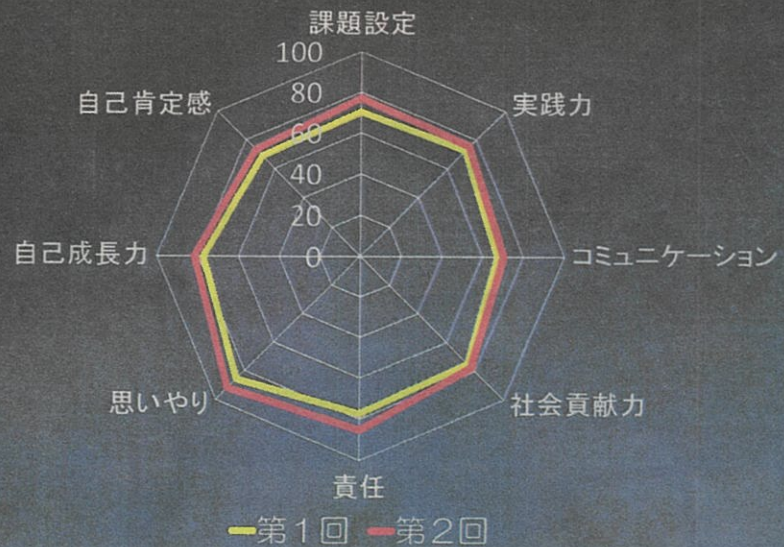
地域の方やおうちの方がたくさんお手伝いや応援に来てくれました。すてきな大人がいることも古賀西の自慢の一つです。

地域の方が古賀西校区を盛り上げるために祭りを開いていることをきいて、わたしもその一員になりたいと思いました。このことも古賀の宝にしていきたいです。

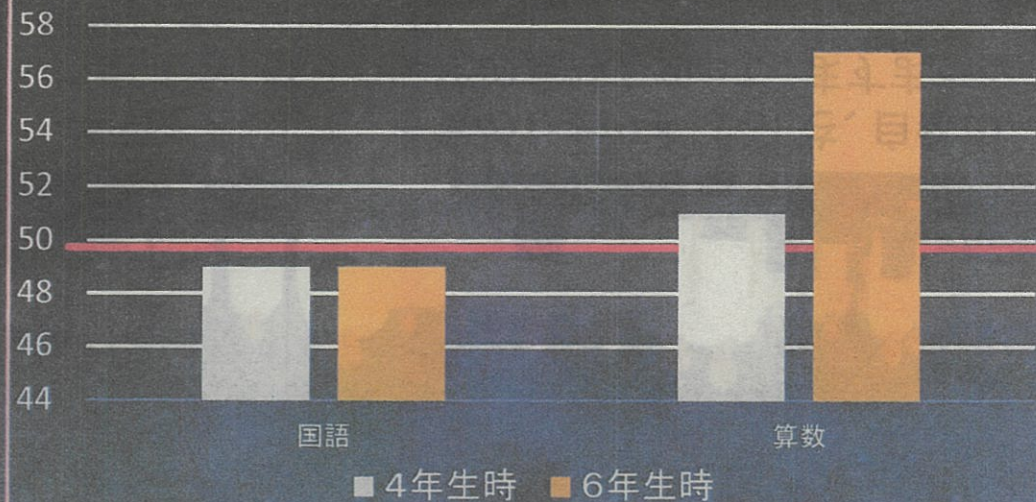


学習をとおして、古賀のひとのすばらしさ、自然のすばらしさ、祭りや伝統の意味を知って、ますます古賀が好きになりました。

社会的実践力の変容（6学年平均：100点満点）



標準学力調査結果6年生経年比較



これは、私たちのまちのまちづくりの目標の一つです。
 地域の人々から学び、地域に貢献するまちづくりを目指します。

「まちづくり」は、地域の人々から学び、地域に貢献するまちづくりを目指します。
 この目標を達成するために、地域の人々から学び、地域に貢献するまちづくりを目指します。

平成29年度学校教育グランドデザイン報告
古賀市立古賀東小学校



地域に貢献する活動への広がり



古賀東校区コミュニティ協議会主催 校区防災訓練

【古賀東小学校の学校教育目標】

地域を愛し人間性豊かで
たくましい実践力を持った子どもの育成



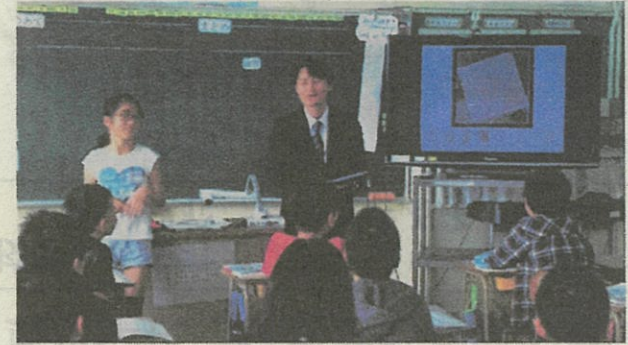
～本年度の重点目標～
共に伸びる東っ子の育成

「あいさつ日本一」



【29年度 教育課題】

- 学習規律の徹底
- 学習意欲の向上
- 自尊感情の高揚



28年度6年生 被災地支援プロジェクト



自分達で考え
進んで活動

古賀東小の文化を
創造

【課題解決の方策】

○児童自らによる新たな
古賀東小の文化の創造

よりよい学校づくりに向け
児童会活動を活発に

児童集会活動一覧

～児童自身が学校文化を創り上げていく取組～

自分たちで考え進める委員会活動



運営委員会 あいさつ運動



子どもたちが自身が
あいさつ日本一を
目指して

- 朝のあいさつ運動
- あいさつ名人さがし



【古賀東小学校 特別活動6年の目標】

全校のことを考えながら、リーダーとして
取り組むことができる子ども



虹 ～自分達の新たな道を描く～

児童集会 1年生歓迎集会



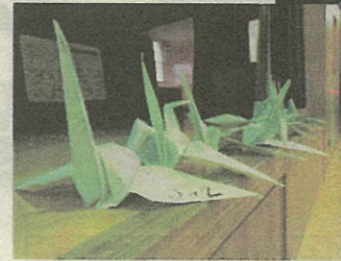
東っ子の一員
としてがんばっ
ていこう

○1年生にしっかり
伝えよう、
東っ子レンジャー
登場



児童集会 平和集会

- 平和への思
いをこめた
大きな鶴
- 古賀市遺族
会の方の話



身近な生活から平和
を考えていこう

児童集会 読書集会



- 読み聞かせ団体
ぐりとぐらの会
への感謝
- ビブリオバトル

たくさんの本に
ふれ合ってほしい

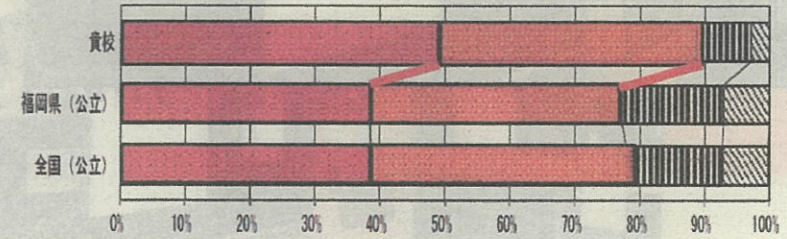


6年生 全国学力学習状況調査 質問紙の結果から

自分には、よいところがあると思いますか

貴校	49.3	39.4	8.5	2.8			0.0	0.0
福岡県(公立)	38.5	38.7	15.7	7.1			0.0	0.0
全国(公立)	38.6	39.3	14.9	7.0			0.0	0.0

1 当てはまる 2 どちらかといえば 当てはまる 3 どちらかといえば 当てはまらない 4 当てはまらない その他 無回答



クト

国語科

資料を牛かいてきえな

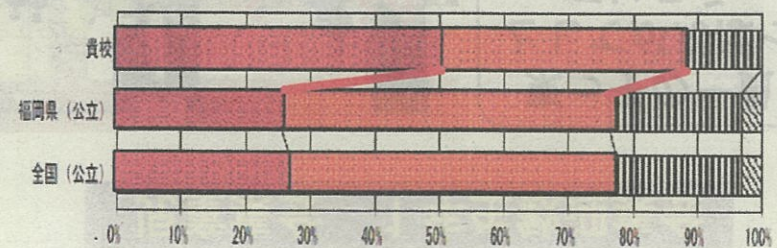


6年生 全国学力学習状況調査 質問紙の結果から

難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	50.7	36.6	12.7	0.0					0.0	0.0
福岡県(公立)	25.5	51.0	20.4	3.1					0.0	0.0
全国(公立)	26.7	50.7	19.5	3.0					0.0	0.0

1 当てはまる 2 どちらかといえば 当てはまる 3 どちらかといえば 当てはまらない 4 当てはまらない その他 無回答



1 全員参加の学びづくり



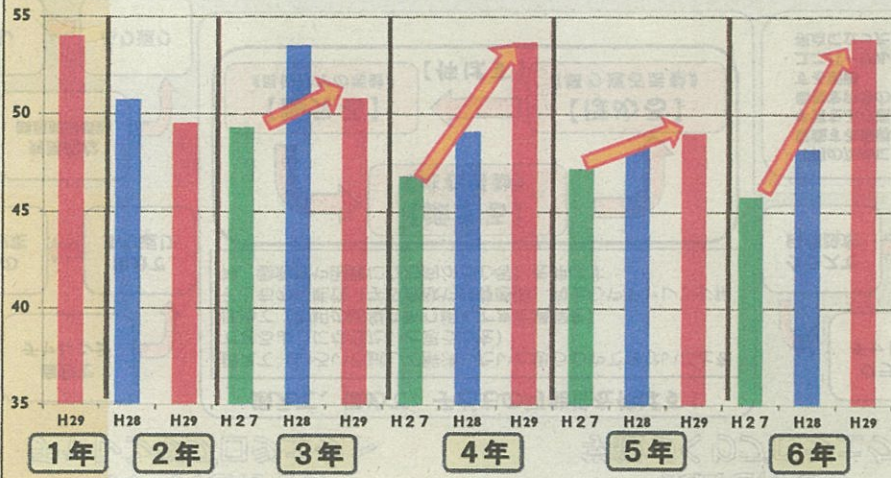
2 集中力・意欲を高める取組

100問計算 ノートコンクール



平成28年・29年度 古賀市標準学力検査
同一集団の経年比較

算数



庄南区 敬老祝賀会



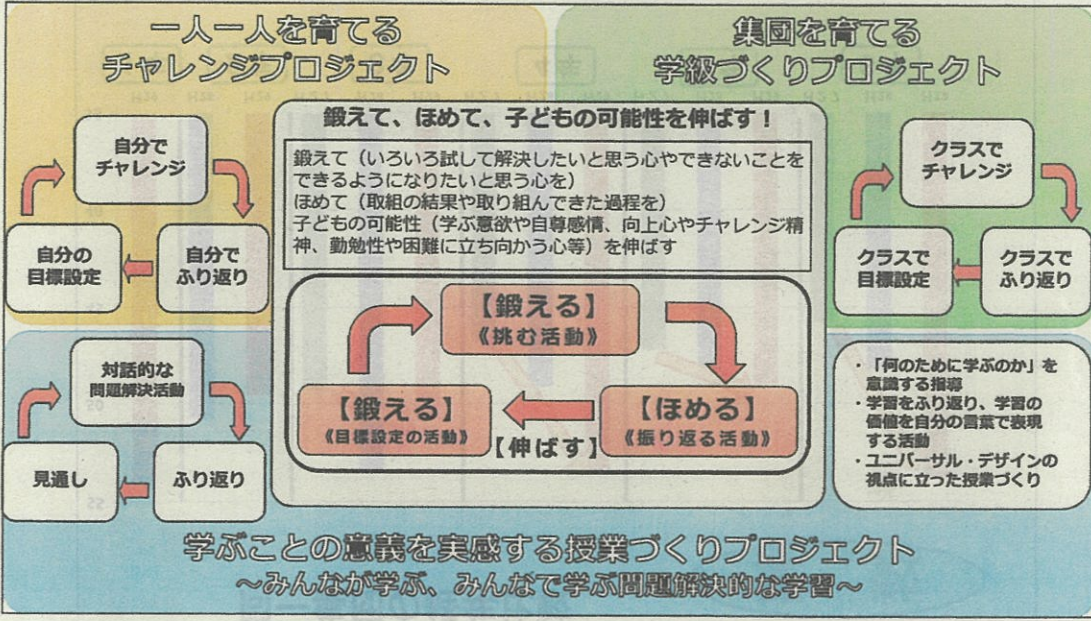
久保区 校区運動会



ご静聴ありがとうございました

平成29年度

グランドデザイン報告



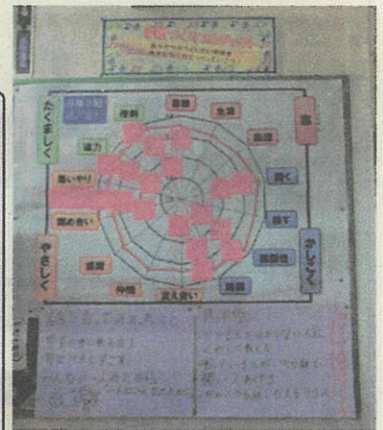
学級づくりプロジェクト



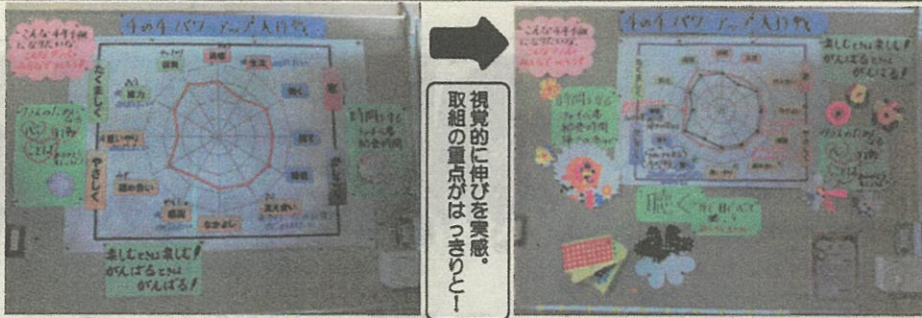
ポイントは、自分たちで評価し、自分たちでこれから取り組むことを決めること。そのために、視覚的にとらえやすく工夫する。後は、学年ごと、学級ごとに工夫して、自分たちのオリジナルのものをつくっていきます。

左上：1年生
みんなでがんばってできたことが集まったら宝箱に宝物が!

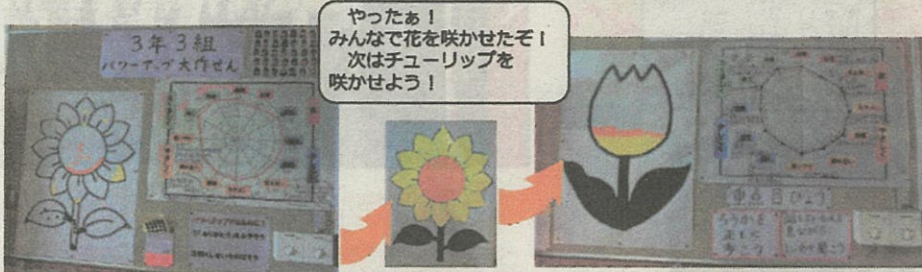
左下：5年生
チャートをもとに、考えた具体的な取組と一緒に掲示して意識しています。



右上：6年生
チャートから考えたことを付箋に書いて、課題や解決の方向性についてみんなで話し合います。話し合ったこと、話し合って決めた具体的な取組を掲示してみんなで常に意識しています。



視覚的に伸びを実感。
取組の重点がはっきりと！



一人一人がチャレンジ宣言



自分で決めて チャレンジする

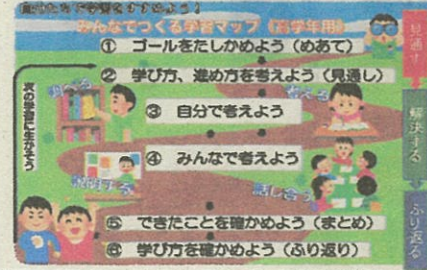
苦手を克服する 得意を伸ばす



自信 自己有用感
他者のよさへの気付き
他者とのつながり



学ぶ意義を実感する「自分たちで学ぶ」授業づくり





自ら課題を見出して
自分の生き方につなぐ



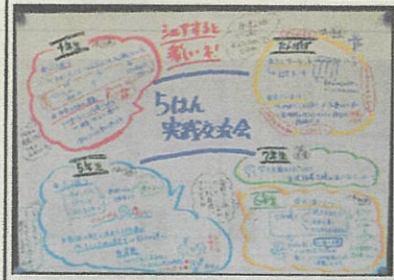
ジュニアサポーターになろう
総合的な学習の時間



自分たちの学びを 誇りを持って人に語る子へ

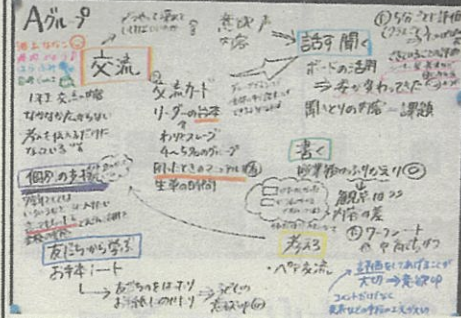


子どもたちが自分たちの手で 「いじめゼロプロジェクト」



育てたい子どもの姿を教師が体現する

教師自身が、考える、言葉にする、
知恵を出す、学び合う



公開校内研修会

ワークショップでは、校内研修の在り方を考えることができました。どの先生方も、悩みながら工夫されていることが分かりました。その学校、それぞれの工夫があって、「どれにすればうまくいく」という一つの答えがあるわけではないことも分かりました。その学校の課題に合わせて、選んだり、新たな方法を見つけ出したりしていくことが必要だということが分かりました。

色々な先生方と「主体的」にさせるために、どうしたらよいかを話し合え、大変有意義な時間を過ごしました。授業づくりだけでなく、子どもたちのほめ忘れ物への指導、どれくらい遊んでいるかなど、日常の話ができたことがとても良かったと思います。

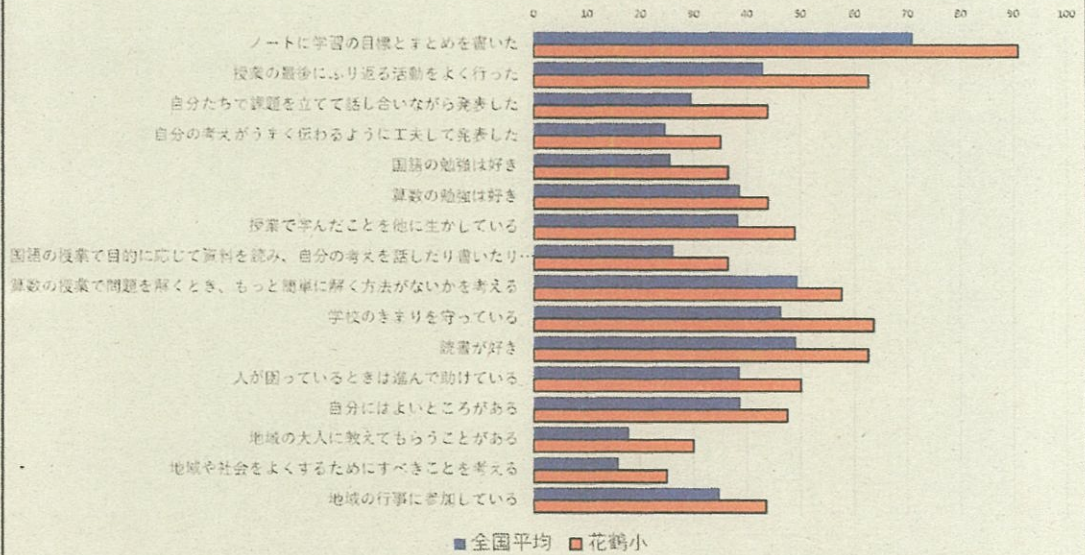


★ワークショップでグループごとに話し合いながら記録した作成物★
シェアしたい学びがたくさん書き込まれています！

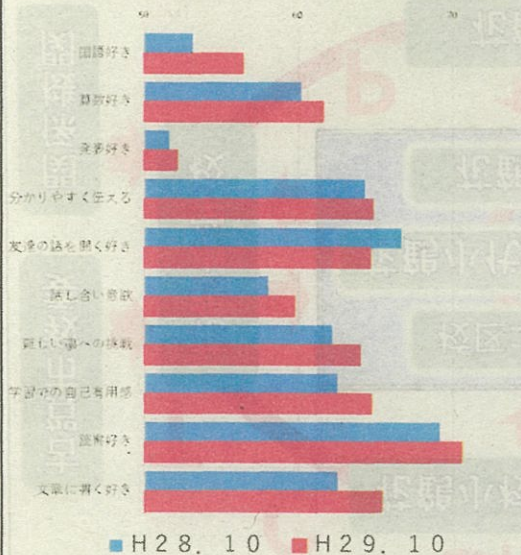
グループにきちんと意図があったので、充実した内容になりました。テーマが明確だったので、交流もしやすかったです。「生きた研修」になりました。その後の指導主事のお話もそのグループのテーマに沿った内容だったので、大変参考になりました。

他の先生方も自分と同じような悩みを持っていたり、今まで知らなかった手立てなどを聞けたりと、大変学ぶことができました。受動的な研修会ではなかったので、最後まで自主的に参加することができました。研修内容が日々の授業づくりや経営にダイレクトに活かせるところがとても素敵だと思いました。

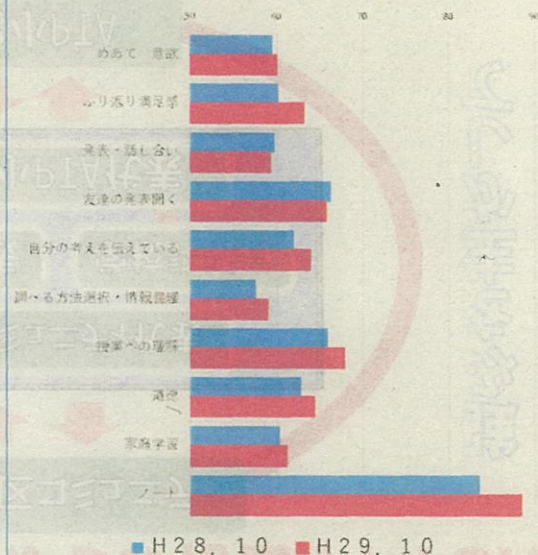
H29全国学力・学習状況調査 児童質問紙



学習に対する期待感に関する項目の変容



意図的な学びの姿に関する項目の変容



かつる寺子屋

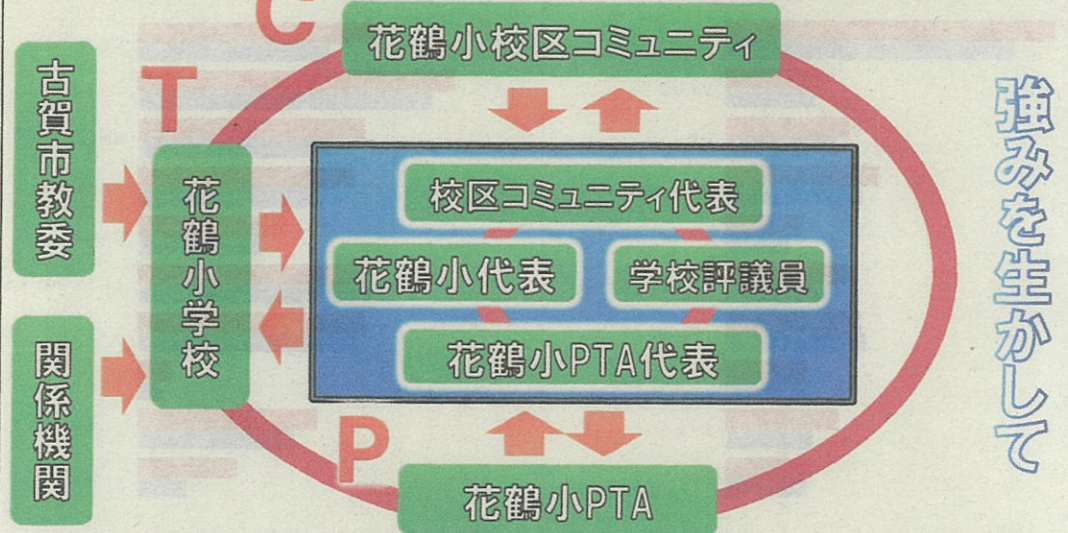
地域のみなさんに
見守られて育つ花鶴っ子

交流給食



たんぼほ七夕集会

これからの花鶴小PTCA



やさしく【協働】

かしこく【創造】

たくましく【自立】

(略)

まわりの人にたすけてもらっていることは、とてもうれしいです。わたしも、いつか人をたすけられる人になりたいです。そして、ひまわりのように、「あなたはすばらしい」というメッセージをみんなにつたえられるようになりたいです。

3年生の作文から



古賀中学校グランドデザイン報告

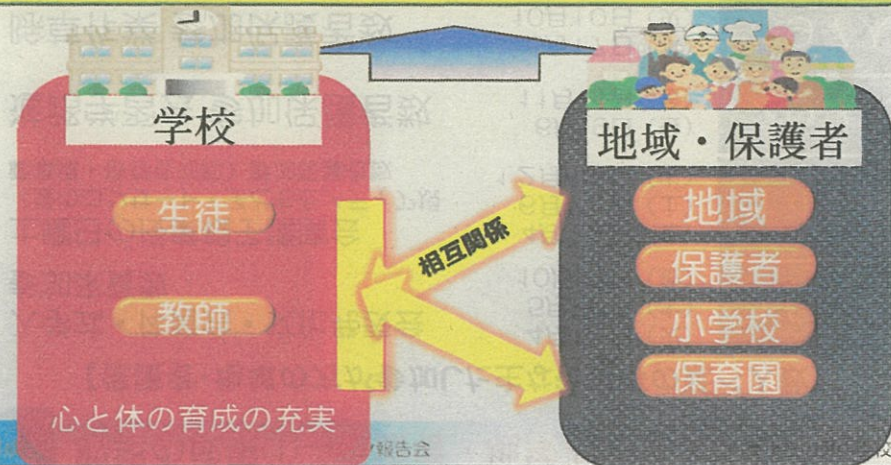


校長 小川 隆弘

特に力点をおいた本年度の取組

古賀中 イッテK! 作戦

【重点目標】自他を大切にできる心をもった生徒の育成



古賀中イッテK作戦

鶴の恩返しシリーズ



保育園の出前理科実験



保育園運動会のお手伝い

卒業生母校に帰るシリーズ



横田昌宏先輩の講話



古賀中イッテK作戦

校区小学校との双方向の交流



小学校への吹奏楽部出前演奏



小学校外国語活動推進研修



文化発表会での小学生発表

古賀中イッテK作戦

地域参加行事



寺子屋活動支援



大根川清掃参加

PTCA活動



K・K隊



K・K隊

心を育てる日常的な取組

無言清掃



生徒会募金活動



子育てサロン（図書館開放）



授業における協働活動



古賀中イッテK作戦

学校での地域活動交流



コスモス広場地場産移動販売



玄海そば塾



親子講演会「愛のコンサート」



フラワークレインズ

取組の成果①→保護者・地域とのつながり 増

【保護者・地域の方が参加した主な行事等の延べ人数】

入学式・体育会・文化発表会 参加来賓数	4月11日(火) 5月20日(土) 10月27日(金)	155人
土曜日の授業親子講演会 (愛のコンサート・子どもとメディア規 範意識・依存症対応)参加保護者数	4月22日(土) 6月24日(土) 12月16日(土)	143人
進路学習会 参加保護者数	6月9日(金) 11月11日(金)	203人
除草作業 参加保護者数	5月17日(水) 10月10日(火)	97人
K・K隊 参加者数	5月13日(土) 8月19日(土) 10月9日(土)	58人
文化発表会当日の「玄海そば塾」 手打ちそば、特産品販売利用者	10月27日(金)	161人

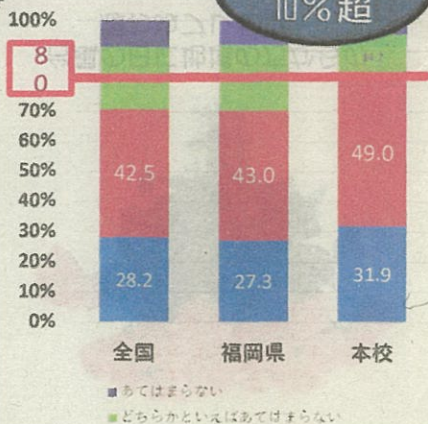
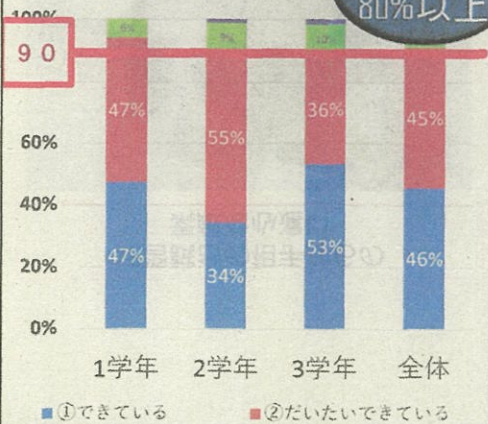
取組の成果②→他者との関係・自己肯定感 **増**

相手意識をもって、心のこもった挨拶ができる

目標値
80%以上

自分には良いところがある

全国・県を
10%超

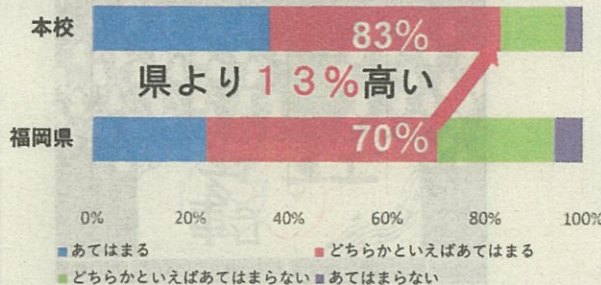


学校生活状況調査の結果

全国学力・学習状況調査

取組の成果②→支持的風土・他者との関係 **増**

【生徒の間で話し合う活動では、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた。】



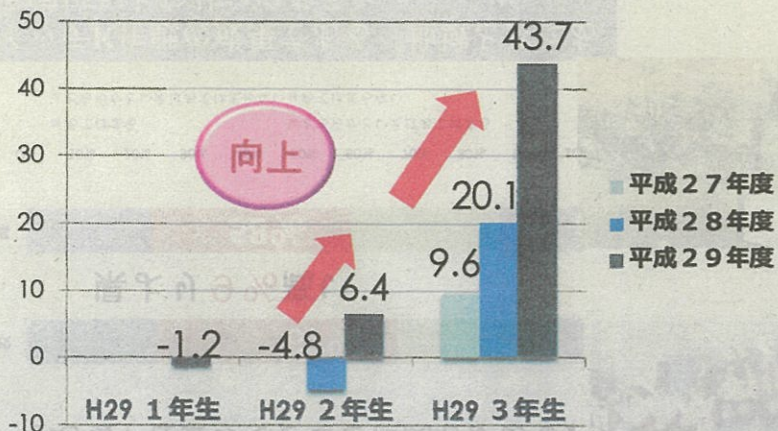
☆一人一人を大切にする学級集団
☆協働学習で培った支持的風土

《平成29年度全国学力・学習状況調査（4月実施 対象：3年生）》

取組の成果③→学力向上 **向上**

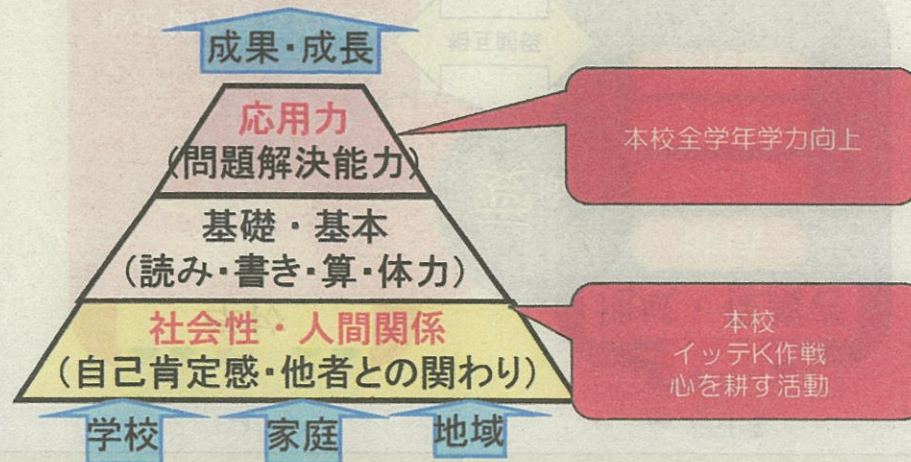
【学力の状況】

学力診断テストにおける県との差の経年比較（毎年4月実施）



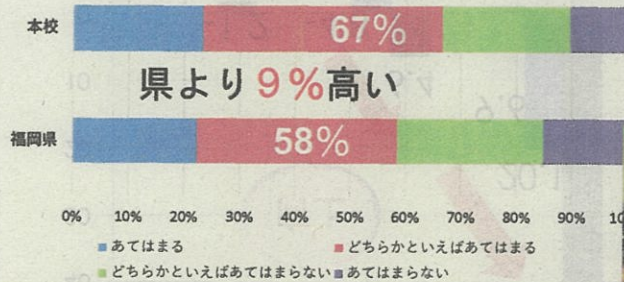
学力診断テストの結果

本校の取組の成果の意味づけ



今後の構想

【地域や社会のできごとに関心がある】

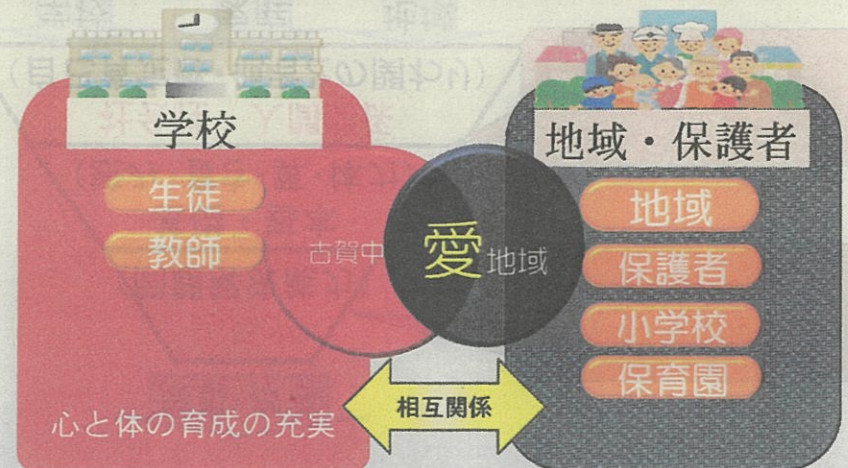


☆イッテK作戦の成果である「地域と共にある学校」となりつつある。
☆更に、地域から頼られる学校へ

《平成29年度全国学力・学習状況調査（4月実施 対象：3年生）》

今後の構想

地域に貢献できる生徒・地域から頼られる学校



古賀中 イッテ K!作戦

地域に頼られ、地域と共にある学校へ

練習試合の相手からの
素敵な心遣い



台風の日地域の方からの
思わぬプレゼント

平成29年度古賀市学校教育グランドデザイン報告会

古賀中学校グランドデザイン報告



校長 小川 隆弘

ご清聴ありがとうございました。

平成29年度 古賀中学校区“共育”計画

古賀中学校区連絡協議会概要

花鶴小学校 古賀西小学校 古賀東小学校 古賀中学校

校区授業研修（花鶴小学校にて）

古賀市外国語活動推進研修会



古賀中校区小中学校教職員ソフトボール交流



ご静聴ありがとうございました。

